

Ⅲ 市民アンケート調査結果

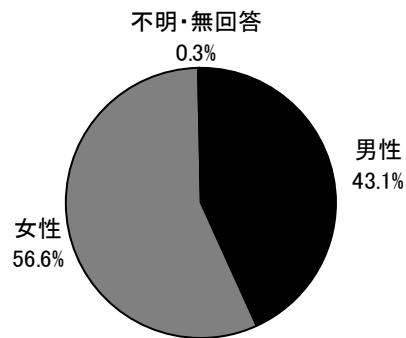
あなた自身について

問1 あなた自身についておたずねします。

●性別はどちらですか。(どちらかに○)

「女性」が56.6%、「男性」が43.1%となっています。

(SA)N=1,292

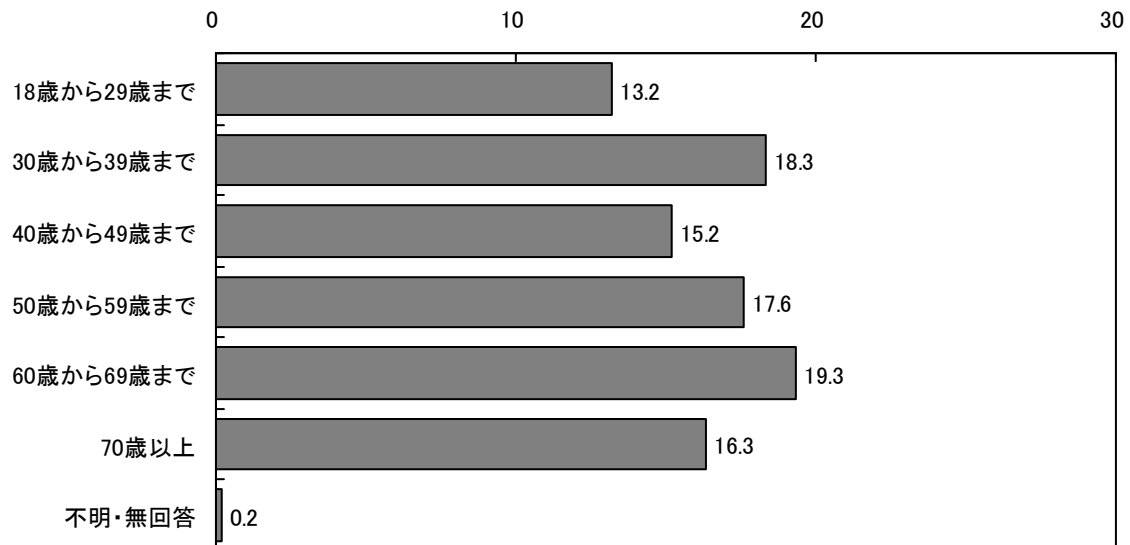


●年齢はおいくつですか。(○は1つ)

「60歳から69歳まで」が19.3%で最も高く、次いで「30歳から39歳まで」が18.3%となっています。

(SA)N=1,292

単位:%

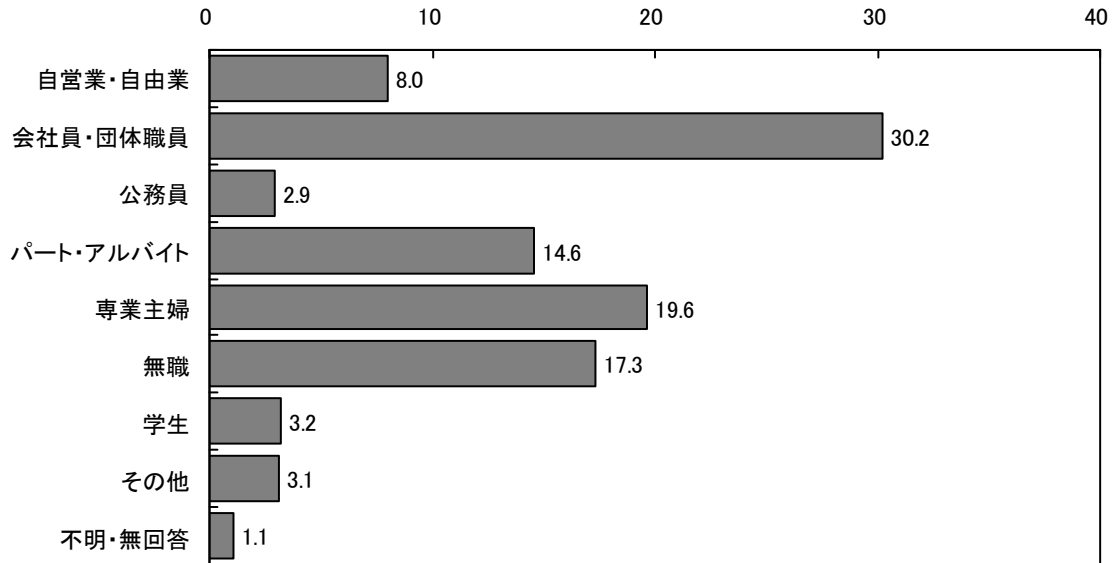


●主な職業についてお答えください。(○は1つ)

「会社員・団体職員」が30.2%で最も高く、次いで「専業主婦」が19.6%、「無職」が17.3%、「パート・アルバイト」が14.6%となっています。

(SA)N=1,292

単位:%

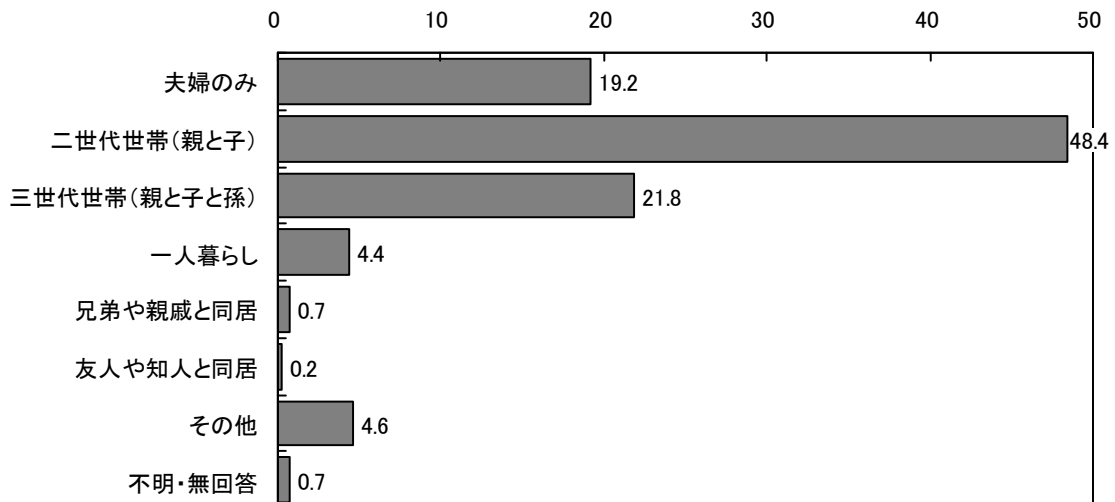


●家族構成はどのようになっていますか。(○は1つ)

「二世世代世帯(親と子)」が48.4%で半数近くとなっています。次いで、「三世世代世帯(親と子と孫)」が21.8%、「夫婦のみ」が19.2%となっています。

(SA)N=1,292

単位:%

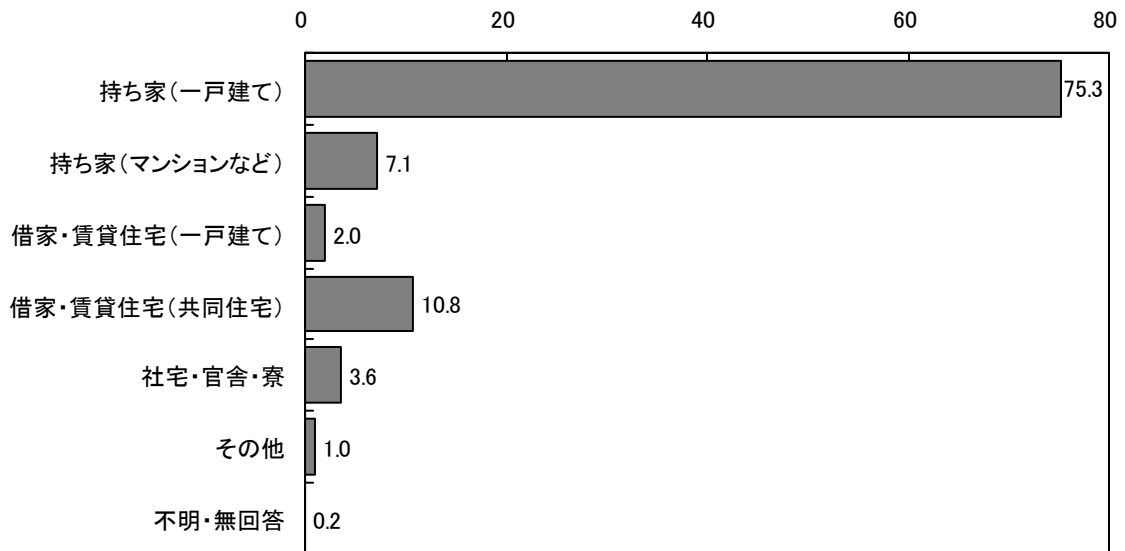


●住まいについてお答えください。(○は1つ)

「持ち家（一戸建て）」が75.3%で群を抜いて高くなっています。

(SA)N=1,292

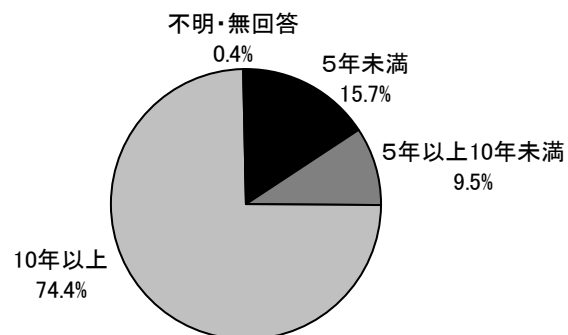
単位:%



●現在の地域にどのくらい住んでいますか。(○は1つ)

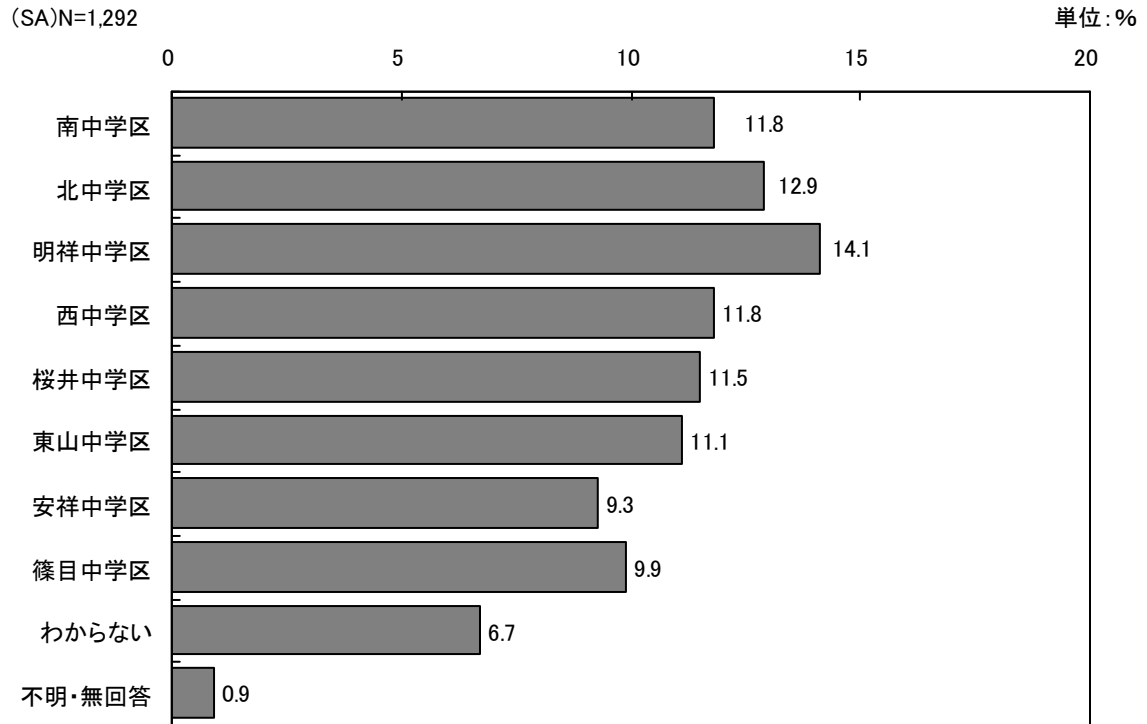
「10年以上」が74.4%、「5年未満」が15.7%、「5年以上10年未満」が9.5%となっています。

(SA)N=1,292



●お住まいの中学校区はどこですか。(〇は1つ)

回答は分散していますが、「明祥中学区」が14.1%で最も高く、次いで「北中学区」が12.9%となっています。



福祉に関する意識について

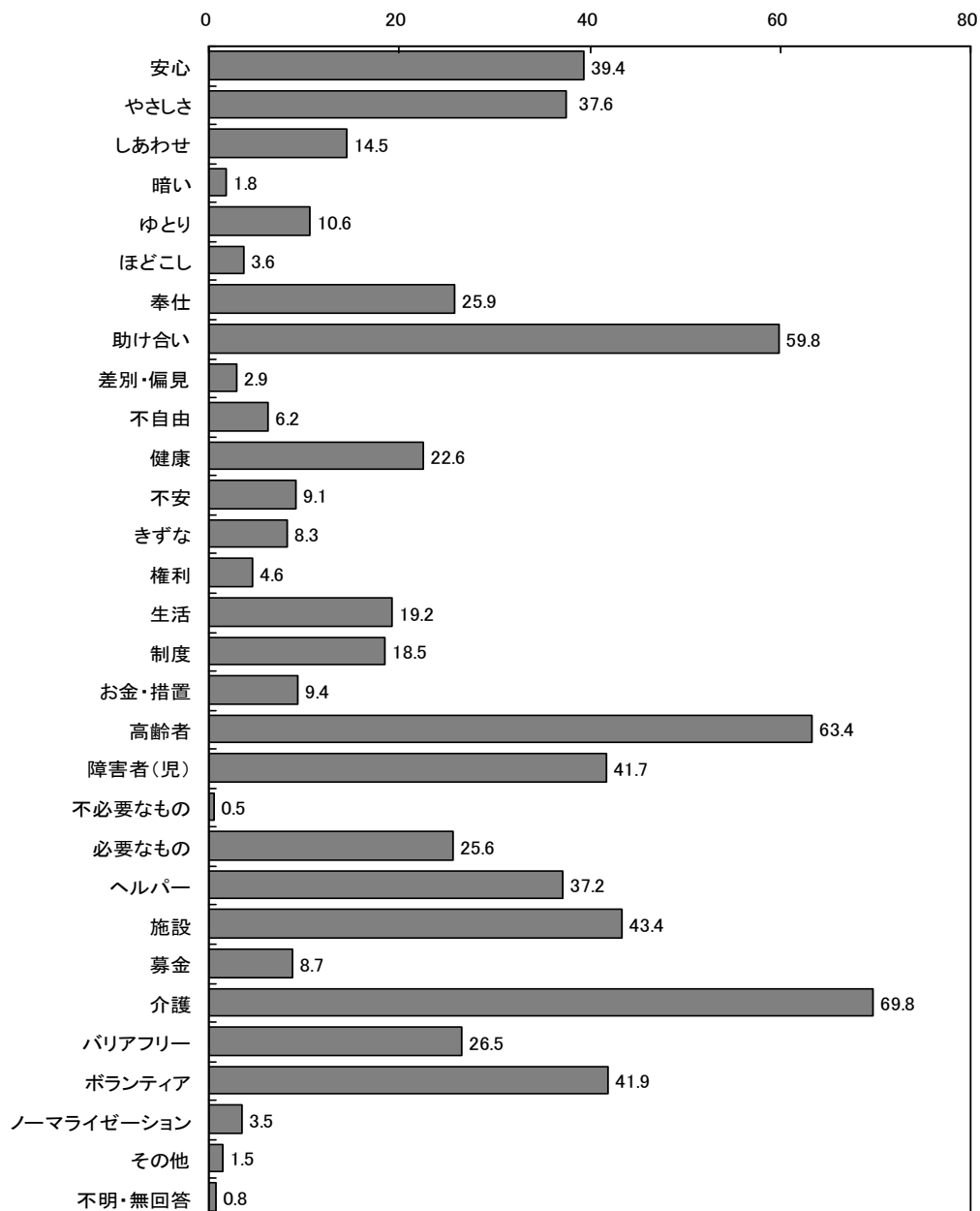
問2 あなたは「福祉」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護」が 69.8%で最も高くなっており、次いで「高齢者」が 63.4%、「助け合い」が 59.8%となっています。

【全体】

(MA)N=1,292

単位：%



問3 あなたは福祉に関してどのような情報を知りたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

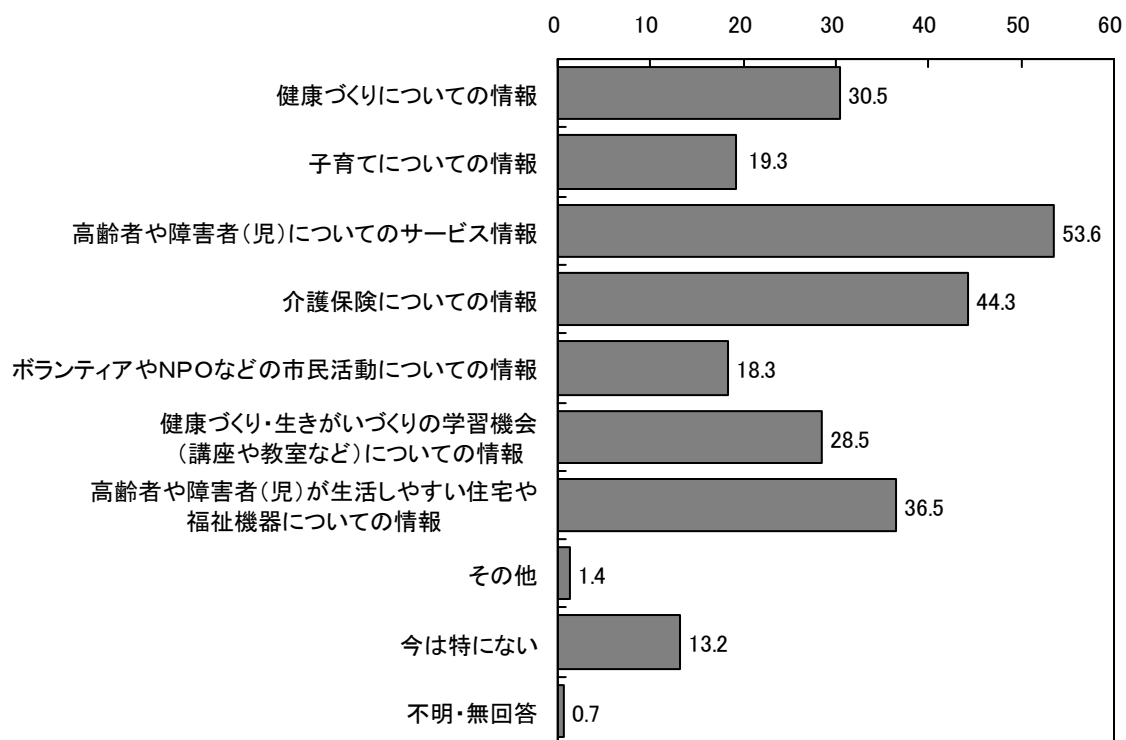
全体では、「高齢者や障害者（児）についてのサービス情報」が53.6%で最も高く、次いで「介護保険についての情報」が44.3%となっています。

また、年齢別にみると30歳から39歳までで「子育てについての情報」が高くなっており、年齢が高くなるにつれて、「高齢者や障害者（児）についてのサービス情報」「介護保険についての情報」が高くなる傾向にあります。

【全体】

(MA)N=1,292

単位：%



【年齢別クロス】

上段:度数	健康づくりについての情報	子育てについての情報	高齢者や障害者(児)についてのサービス情報	介護保険についての情報	ボランティアやNPOなどの市民活動についての情報
下段:%					
18歳から29歳まで (N=170)	46 27.1	64 37.6	67 39.4	54 31.8	31 18.2
30歳から39歳まで (N=236)	71 30.1	128 54.2	92 39.0	80 33.9	44 18.6
40歳から49歳まで (N=197)	58 29.4	31 15.7	111 56.3	84 42.6	42 21.3
50歳から59歳まで (N=227)	63 27.8	9 4.0	145 63.9	117 51.5	45 19.8
60歳から69歳まで (N=249)	74 29.7	10 4.0	144 57.8	125 50.2	43 17.3
70歳以上 (N=211)	82 38.9	7 3.3	132 62.6	113 53.6	32 15.2

上段:度数	健康づくり・生きがいづくりの学習機会(講座や教室など)についての情報	高齢者や障害者(児)が生活しやすい住宅や福祉機器についての情報	その他	今は特にはない	不明・無回答
下段:%					
18歳から29歳まで (N=170)	30 17.6	53 31.2	3 1.8	35 20.6	1 0.6
30歳から39歳まで (N=236)	70 29.7	64 27.1	1 0.4	23 9.7	-
40歳から49歳まで (N=197)	47 23.9	81 41.1	1 0.5	24 12.2	-
50歳から59歳まで (N=227)	76 33.5	97 42.7	3 1.3	24 10.6	2 0.9
60歳から69歳まで (N=249)	79 31.7	98 39.4	7 2.8	41 16.5	3 1.2
70歳以上 (N=211)	66 31.3	78 37.0	3 1.4	23 10.9	2 0.9

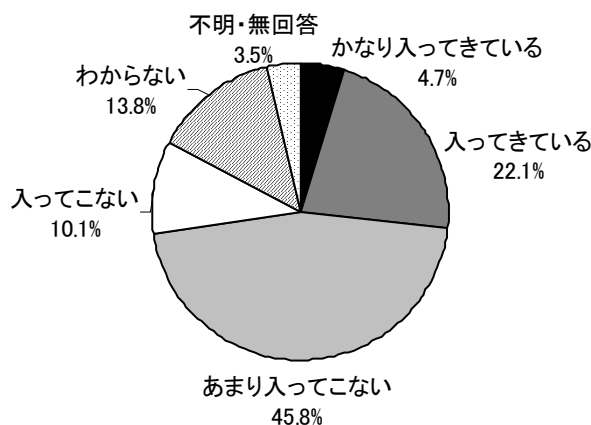
問4 あなたは、福祉に関する情報がどの程度入ってきているとお考えですか。(〇は1つ)

全体では、「あまり入っていない」が45.8%で最も高く、次いで「入ってきている」が22.1%となっています。

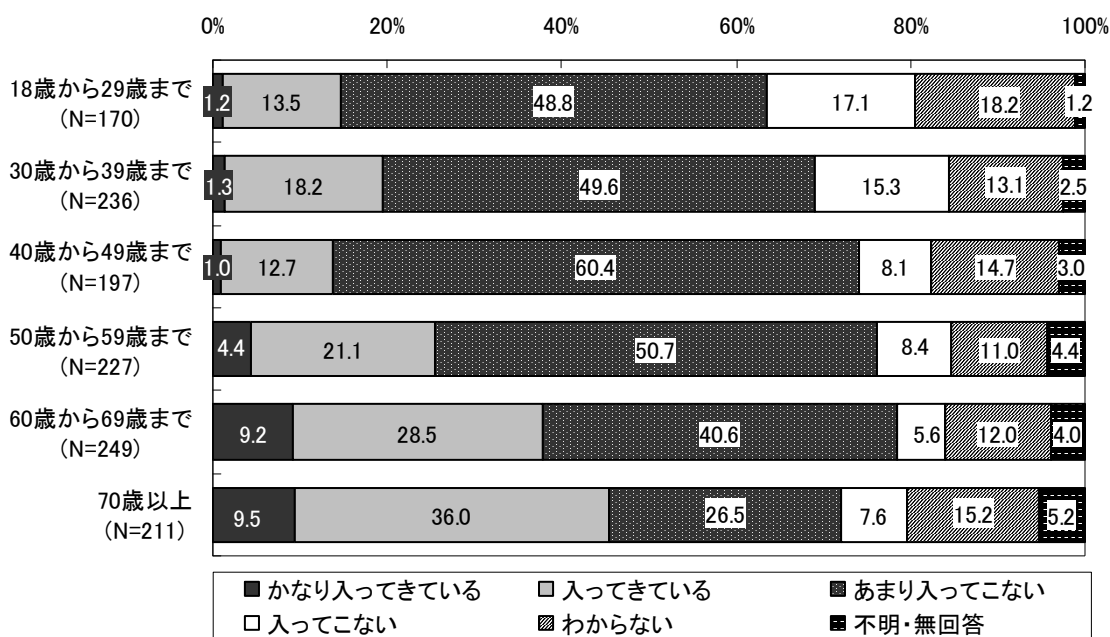
また、年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて『入ってきている』（「かなり入ってきている」と「入ってきている」の合計）が高くなる傾向にありますが、40歳代では13.7%と最も低くなっています。

【全体】

(SA)N=1,292



【年齢別クロス】



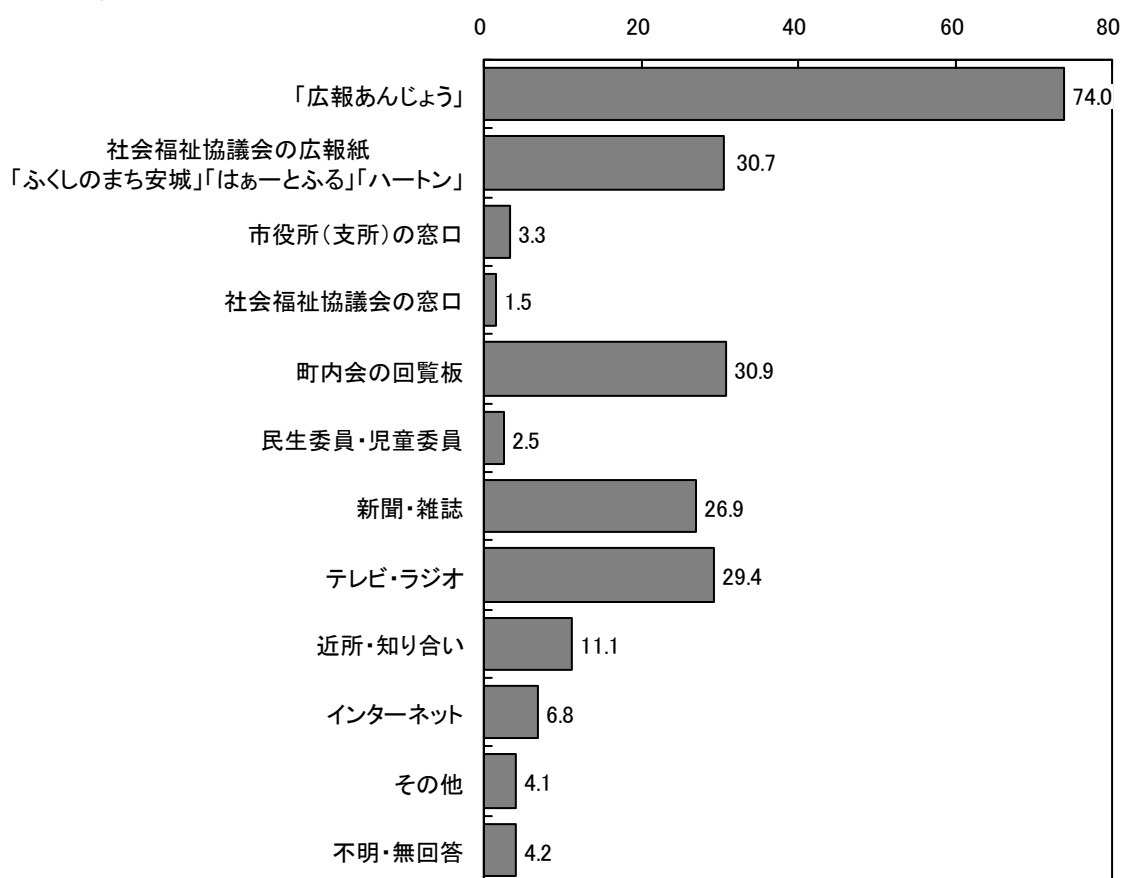
問5 福祉に関する必要な情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

「広報あんじょう」が74.0%で群を抜いて高くなっています。次いで「町内会の回覧板」が30.9%、『社会福祉協議会の広報紙「ふくしのまち安城」「はぁーとふる」「ハートン」』が30.7%、「テレビ・ラジオ」「新聞・雑誌」もそれぞれ29.4%、26.9%で高くなっています。

【全体】

(MA)N=1,292

単位：%

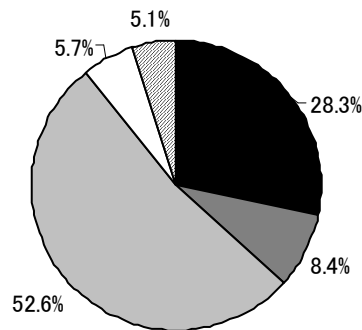


問6 福祉を充実させるために、その財源となる税金などの負担や地域活動・ボランティア活動への参加などによる協力について、あなたのお考えに最も近いのは次のどの意見ですか。(○は1つ)

「税金などの負担の増加は好ましくないが、地域活動などへは参加すべきである」が52.6%で最も高く、次いで「税金などの負担の増加はやむを得ないし、地域活動などへも参加すべきである」が28.3%となっています。

【全体】

(SA)N=1,292



- 税金などの負担の増加はやむを得ないし、地域活動などへも参加すべきである
- 税金などの負担の増加はやむを得ないが、地域活動などへは参加の必要はない
- 税金などの負担の増加は好ましくないが、地域活動などへは参加すべきである
- 税金などの負担の増加は好ましくなく、地域活動などへの参加も必要ではない
- ▨ 不明・無回答

あなたの日常生活、将来の暮らしについて

問7 近隣の人は、どの程度の付き合いをしていますか。(〇は1つ)

全体では、「顔が合えば、挨拶をする程度」が40.6%で最も高くなっており、次いで「顔が合えば、立ち話をする程度」が34.1%となっています。

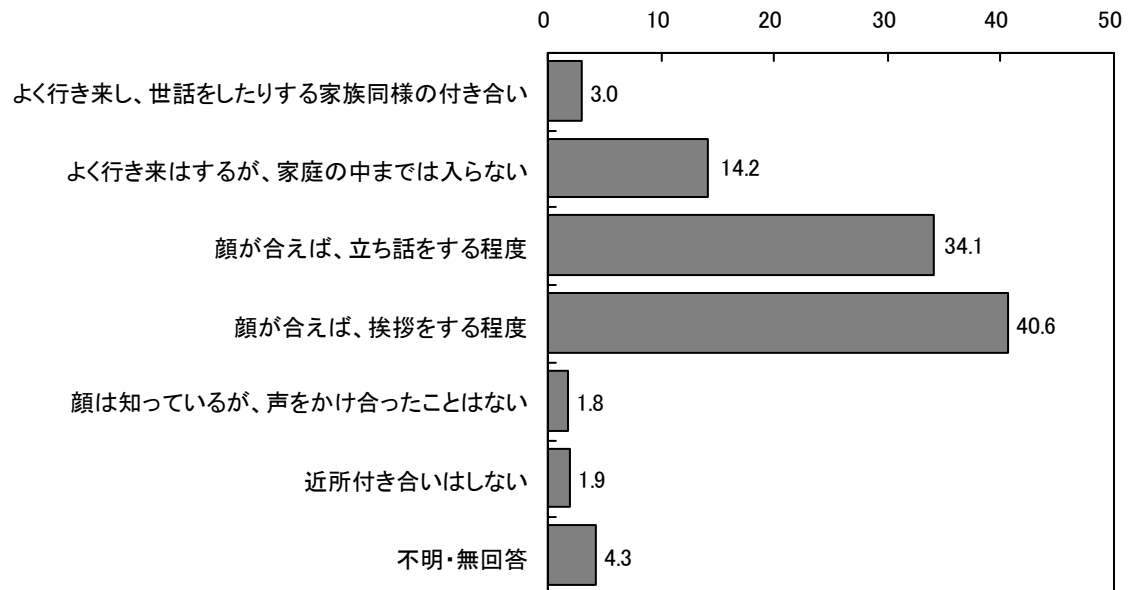
また、男女別にみると、話をしたり、よく行き来するという近所付き合いが深いほど、女性の方が高い割合となっています。

さらに、年齢別にみると年齢が高くなるほど、近所付き合いも深いということがわかり、18歳から59歳まででは、「顔が合えば、挨拶をする程度」が高くなっているのに対し、60歳以上では「顔が合えば、立ち話をする程度」が高く、70歳以上については「よく行き来はするが、家庭の中までは入らない」も高くなっています。

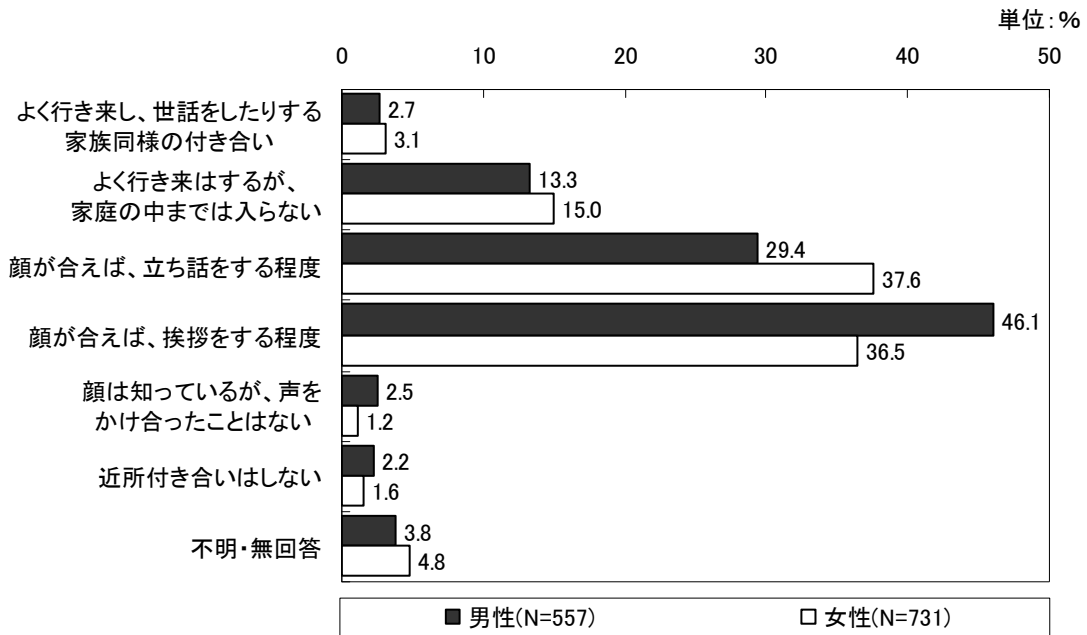
【全体】

(SA)N=1,292

単位:%



【男女別クロス】



【年齢別クロス】

上段:度数	よく行き来し、世話をしたりする家族同様の付き合い	よく行き来はするが、家庭の中までは入らない	顔が合えば、立ち話をする程度	顔が合えば、挨拶をする程度	顔は知っているが、声をかけ合ったことはない	近所付き合いはしない	不明・無回答
下段:%							
18歳から29歳まで (N=170)	2 1.2	8 4.7	20 11.8	116 68.2	8 4.7	10 5.9	6 3.5
30歳から39歳まで (N=236)	8 3.4	13 5.5	73 30.9	125 53.0	3 1.3	4 1.7	10 4.2
40歳から49歳まで (N=197)	5 2.5	13 6.6	79 40.1	91 46.2	4 2.0	1 0.5	4 2.0
50歳から59歳まで (N=227)	5 2.2	33 14.5	81 35.7	83 36.6	5 2.2	5 2.2	15 6.6
60歳から69歳まで (N=249)	8 3.2	51 20.5	113 45.4	66 26.5	1 0.4	-	10 4.0
70歳以上 (N=211)	10 4.7	66 31.3	74 35.1	44 20.9	2 0.9	4 1.9	11 5.2

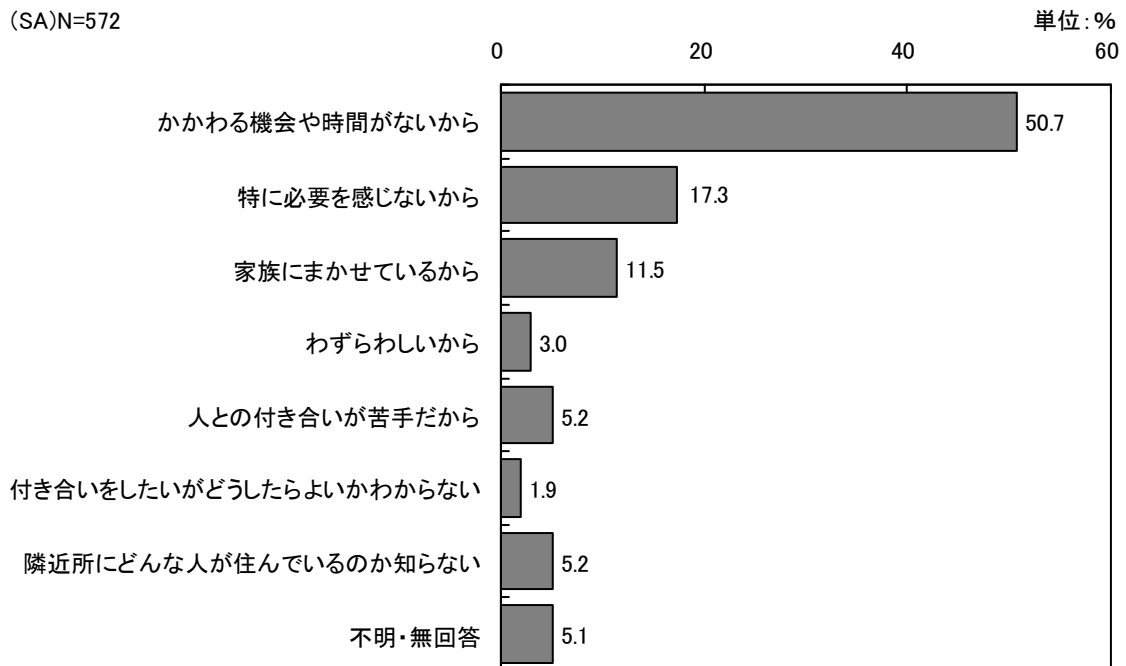
(問7で「4 顔が合えば、挨拶をする程度」「5 顔は知っているが、声をかけ合ったことはない」「6 近所付き合いはしない」のいずれかを選んだ人におたずねします。)

問7-1 付き合いがほとんどないのはなぜですか。(〇は1つ)

「かかわる機会や時間がないから」が50.7%で群を抜いて高くなっています。

【全体】

(SA)N=572



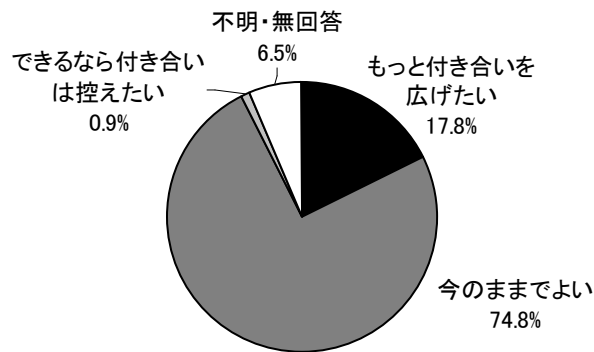
問8 近所の人とは、今後どの程度の付き合いをしていきたいと思えますか。(〇は1つ)

全体では、「今のままでよい」が74.8%、「もっと付き合いを広げたい」が17.8%、「できるなら付き合いは控えたい」が0.9%となっています。

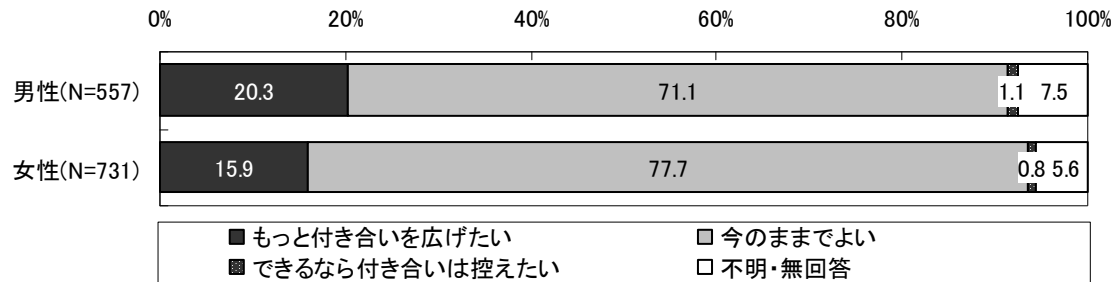
また、男女別にみると「もっと付き合いを広げたい」は男性が20.3%で女性より4.4ポイント高くなっています。

【全体】

(SA)N=1,292



【男女別クロス】



問9 毎日の暮らしの中で、次のどのようなことで悩みや不安を感じていますか。

(〇は3つまで)

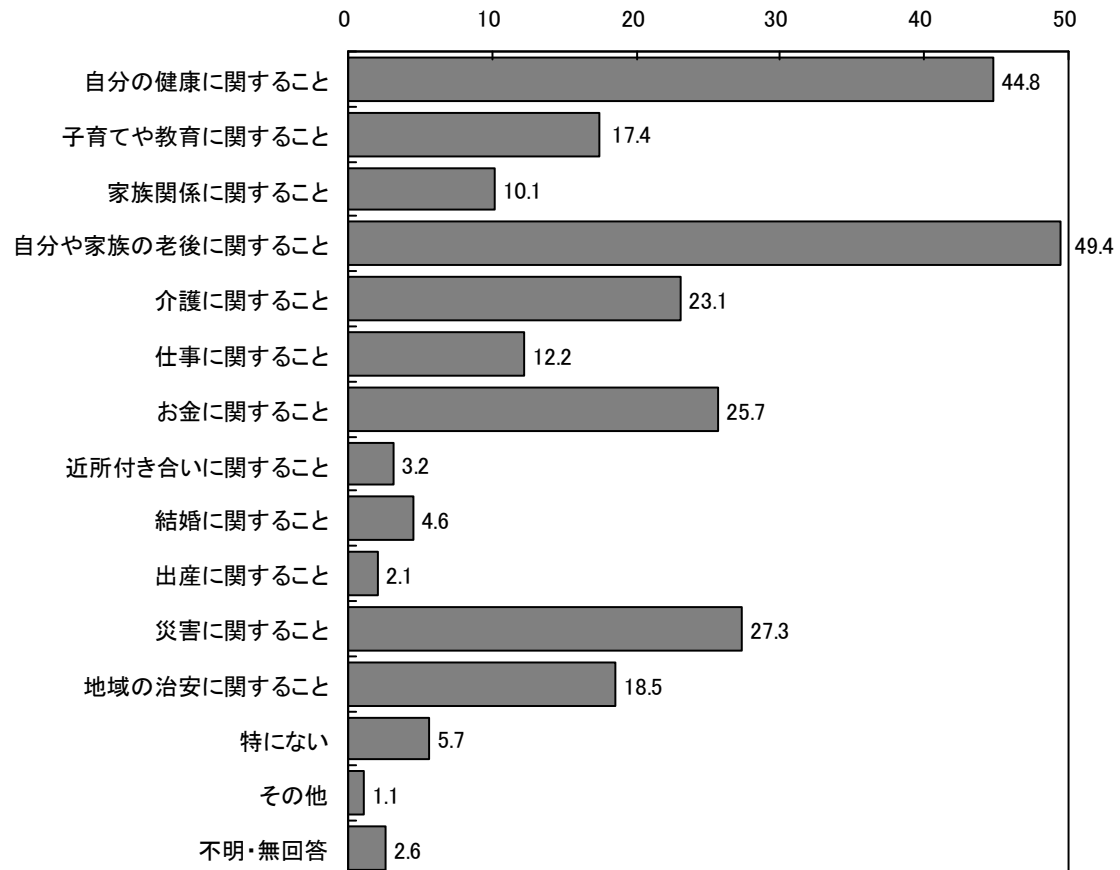
全体では、「自分や家族の老後に関すること」が49.4%で最も高く、次いで「自分の健康に関すること」が44.8%となっています。

また、年齢別にみると、最も不安を感じていることは各年代で異なり、18歳から29歳まででは「お金に関すること」、30歳から39歳まででは「子育てや教育に関すること」、40歳から59歳まででは「自分や家族の老後に関すること」、60歳以上では「自分の健康に関すること」がそれぞれ最も高くなっています。

【全体】

(MA)N=1,292

単位：%



【年齢別クロス】

上段:度数 下段:%	自分の健康に 関すること	子育てや教育 にすること	家族関係に 関すること	自分や家族の 老後にすること	介護に 関すること	仕事に 関すること	お金に 関すること	近所付き合い にすること
18歳から29 歳まで (N=170)	42 24.7	41 24.1	18 10.6	57 33.5	10 5.9	60 35.3	78 45.9	6 3.5
30歳から39 歳まで (N=236)	60 25.4	108 45.8	21 8.9	92 39.0	26 11.0	39 16.5	81 34.3	6 2.5
40歳から49 歳まで (N=197)	64 32.5	63 32.0	26 13.2	109 55.3	40 20.3	30 15.2	46 23.4	6 3.0
50歳から59 歳まで (N=227)	121 53.3	10 4.4	21 9.3	147 64.8	56 24.7	18 7.9	54 23.8	7 3.1
60歳から69 歳まで (N=249)	145 58.2	2 0.8	26 10.4	142 57.0	89 35.7	7 2.8	51 20.5	8 3.2
70歳以上 (N=211)	146 69.2	1 0.5	19 9.0	90 42.7	76 36.0	3 1.4	22 10.4	8 3.8

上段:度数 下段:%	結婚に 関すること	出産に 関すること	災害に 関すること	地域の治安に 関すること	特にな い	その他	不明・無 回答
18歳から29 歳まで (N=170)	22 12.9	12 7.1	41 24.1	35 20.6	12 7.1	-	3 1.8
30歳から39 歳まで (N=236)	16 6.8	15 6.4	76 32.2	50 21.2	7 3.0	5 2.1	4 1.7
40歳から49 歳まで (N=197)	2 1.0	-	60 30.5	46 23.4	6 3.0	1 0.5	6 3.0
50歳から59 歳まで (N=227)	9 4.0	-	58 25.6	34 15.0	15 6.6	3 1.3	7 3.1
60歳から69 歳まで (N=249)	9 3.6	-	60 24.1	50 20.1	14 5.6	4 1.6	7 2.8
70歳以上 (N=211)	2 0.9	-	58 27.5	24 11.4	20 9.5	1 0.5	7 3.3

問 10 毎日の暮らしの中で困ったり不安を感じたときに、家族や親族以外では、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

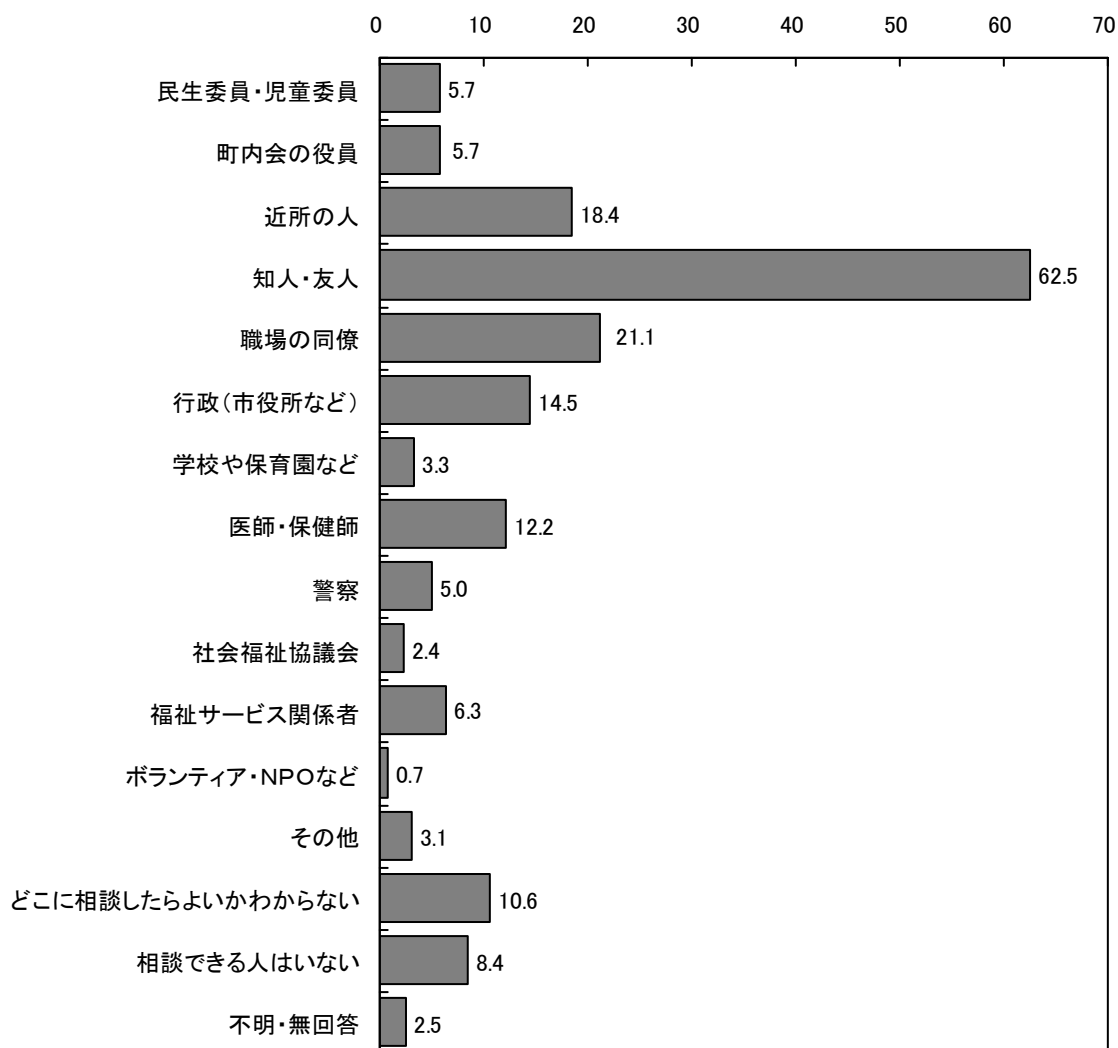
全体では「知人・友人」が 62.5%で最も高くなっており、次いで「職場の同僚」が 21.1%、「近所の人」が 18.4%、「行政（市役所など）」が 14.5%となっています。

また、年齢別にみると全ての年齢層が共通で「知人・友人」が最も高くなっているものの、18歳から49歳までは「職場の同僚」が3割程度みられ、50歳以上は「近所の人」や「行政（市役所など）」などが2割程度で高くなっており、年代によって差がみられます。

【全体】

(MA)N=1,292

単位：%



【年齢別クロス】

上段:度数	民生委員・児童委員	町内会の役員	近所の人	知人・友人	職場の同僚	行政(市役所など)	学校や保育園など	医師・保健師
下段:%								
18歳から29歳まで(N=170)	1 0.6	-	8 4.7	134 78.8	53 31.2	8 4.7	12 7.1	8 4.7
30歳から39歳まで(N=236)	-	8 3.4	43 18.2	170 72.0	76 32.2	17 7.2	18 7.6	22 9.3
40歳から49歳まで(N=197)	5 2.5	7 3.6	26 13.2	146 74.1	62 31.5	17 8.6	9 4.6	14 7.1
50歳から59歳まで(N=227)	3 1.3	12 5.3	47 20.7	145 63.9	63 27.8	38 16.7	2 0.9	25 11.0
60歳から69歳まで(N=249)	21 8.4	19 7.6	57 22.9	133 53.4	16 6.4	68 27.3	1 0.4	41 16.5
70歳以上(N=211)	43 20.4	28 13.3	57 27.0	79 37.4	3 1.4	39 18.5	1 0.5	48 22.7

上段:度数	警察	社会福祉協議会	福祉サービス関係者	ボランティア・NPOなど	その他	どこに相談したらよいかわからない	相談できる人はいない	不明・無回答
下段:%								
18歳から29歳まで(N=170)	1 0.6	1 0.6	3 1.8	-	6 3.5	12 7.1	11 6.5	2 1.2
30歳から39歳まで(N=236)	5 2.1	1 0.4	5 2.1	3 1.3	11 4.7	23 9.7	16 6.8	-
40歳から49歳まで(N=197)	5 2.5	1 0.5	4 2.0	1 0.5	2 1.0	19 9.6	12 6.1	2 1.0
50歳から59歳まで(N=227)	14 6.2	4 1.8	12 5.3	2 0.9	9 4.0	24 10.6	15 6.6	7 3.1
60歳から69歳まで(N=249)	23 9.2	13 5.2	26 10.4	-	5 2.0	33 13.3	31 12.4	9 3.6
70歳以上(N=211)	16 7.6	11 5.2	31 14.7	3 1.4	7 3.3	26 12.3	24 11.4	12 5.7

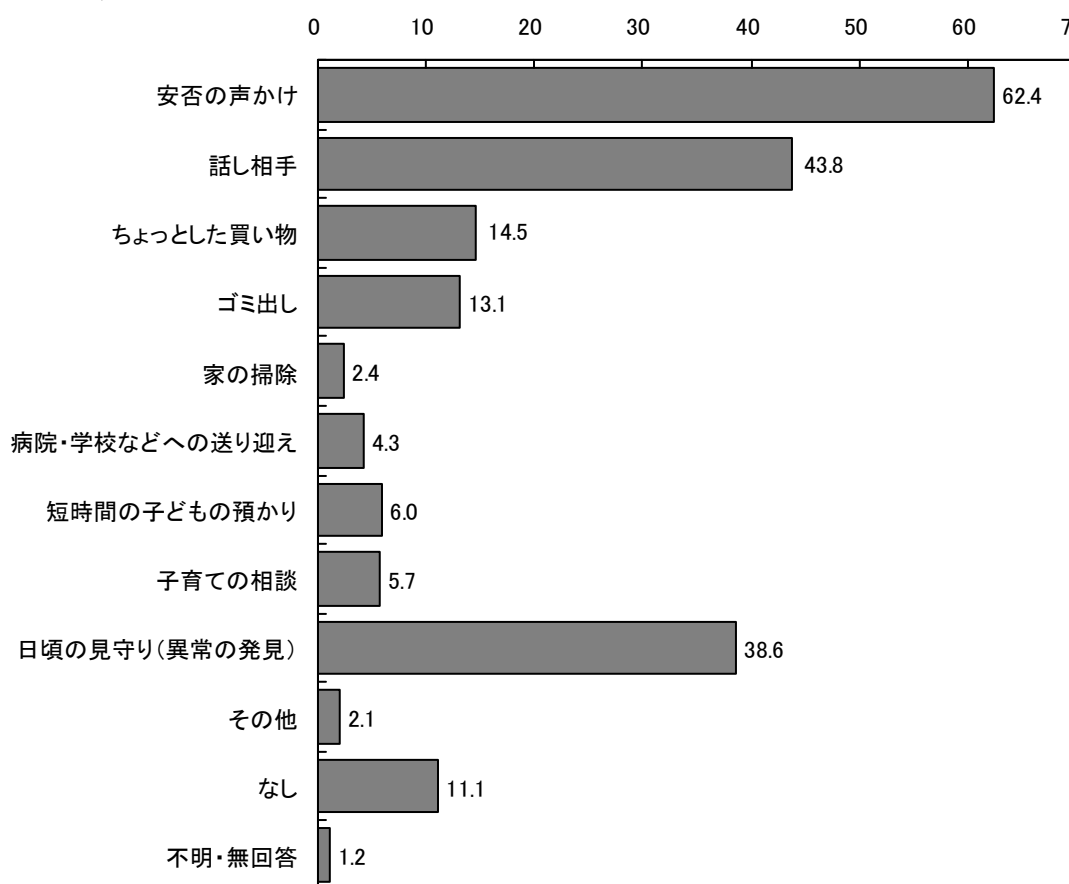
問 11 地域で、ひとり暮らし高齢者、介護や病気、子育てなどで困っている世帯があったら、あなたにできることは何ですか。(〇は3つまで)

「安否の声かけ」が62.4%で最も高くなっており、次いで「話し相手」が43.8%、「日頃の見守り(異常の発見)」が38.6%となっています。

【全体】

(MA)N=1,292

単位:%



問 12 あなた自身やご家族が、介護や病気、子育てなどで困ったときは、地域で何をして欲しいですか。(〇は3つまで)

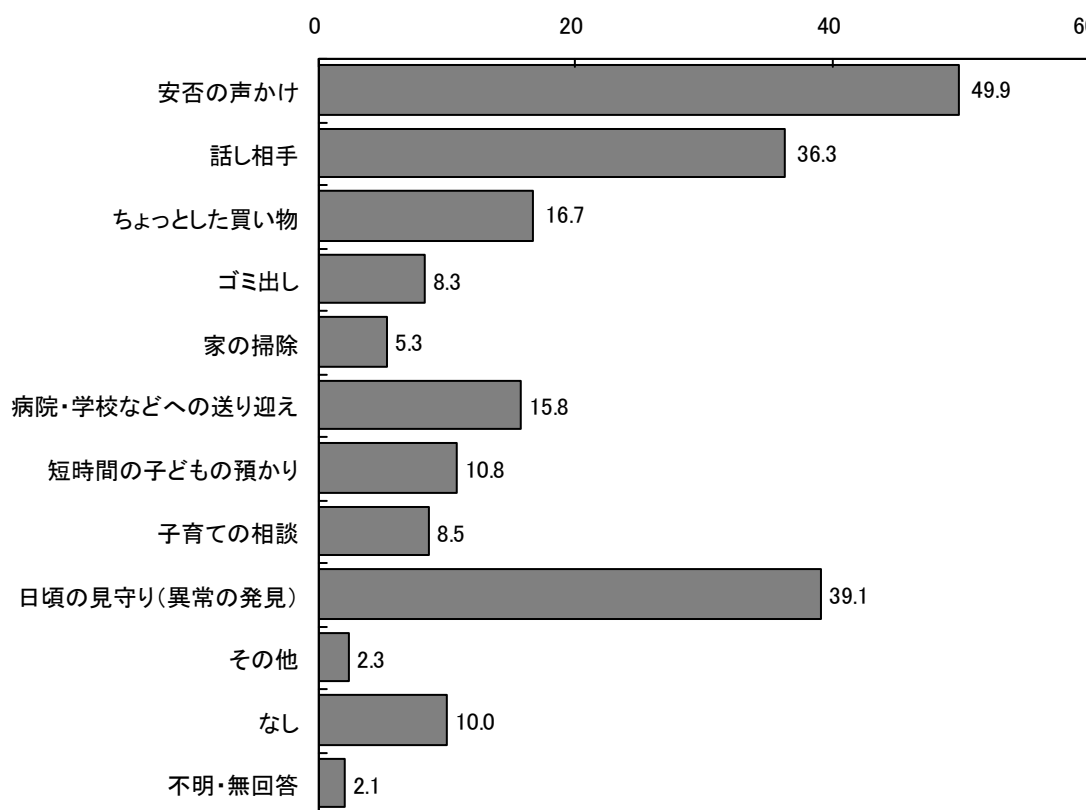
「安否の声かけ」が49.9%で最も高く、次いで「日頃の見守り(異常の発見)」が39.1%、「話し相手」が36.3%となっています。

また、「ちょっとした買い物」「病院・学校などへの送り迎え」「短時間の子どもの預かり」などについては自身のできる事(問11)よりも高くなっています。

【全体】

(MA)N=1,292

単位:%



地域活動、ボランティア活動について

問 13 地域の行事などに参加していますか。(〇は1つ)

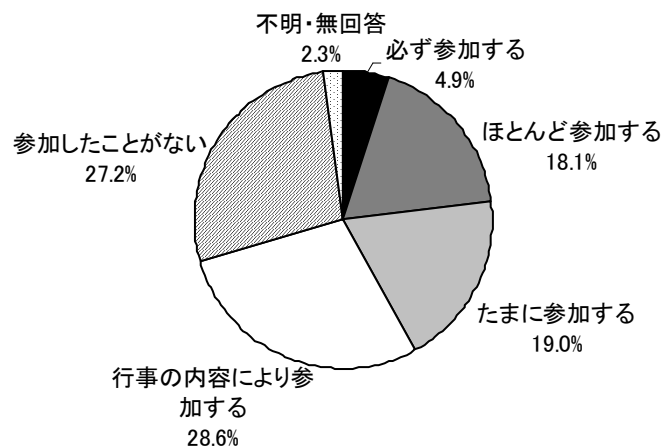
全体で見ると、「行事の内容により参加する」が28.6%で最も高く、次いで「参加したことがない」が27.2%となっています。

また、年齢別にみると、年齢とともに参加率も高くなる傾向にあります。18歳から29歳まででは「参加したことがない」が6割を超えています。一方、参加度合いの高い「必ず参加する」と「ほとんど参加する」の合計が最も高いのは、70歳以上で29.9%となっています。

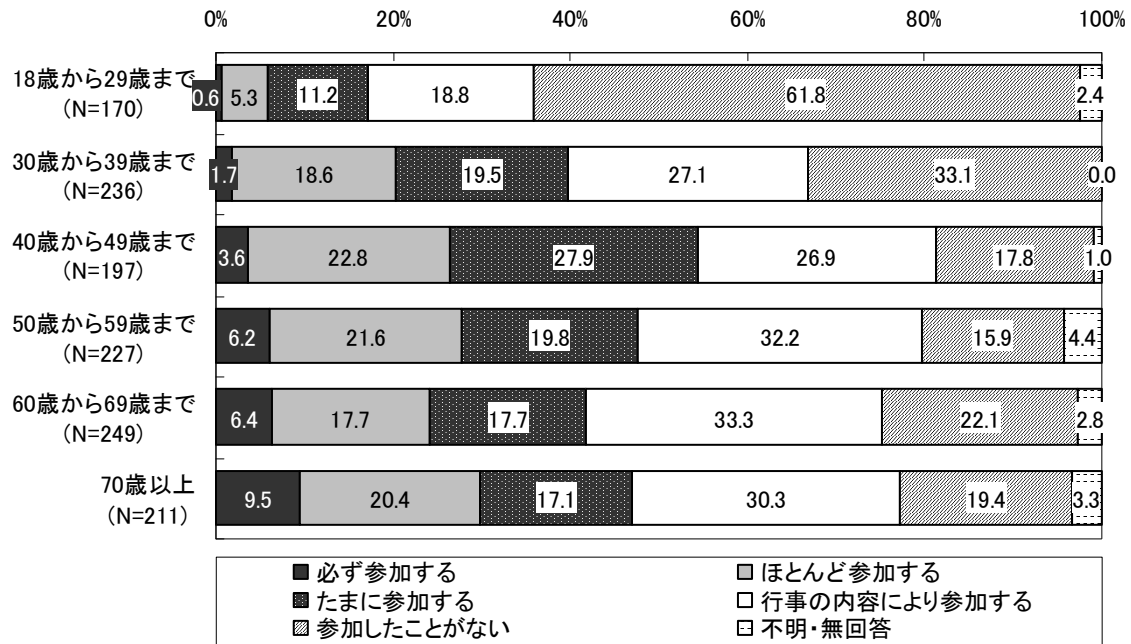
さらに、地区別にみると、「明祥中学区」「西中学区」「東山中学区」などで参加度合いが高いのに対して、中学区がわからない方をはじめ、「篠目中学区」や「南中学区」は参加度合いが低くなっています。

【全体】

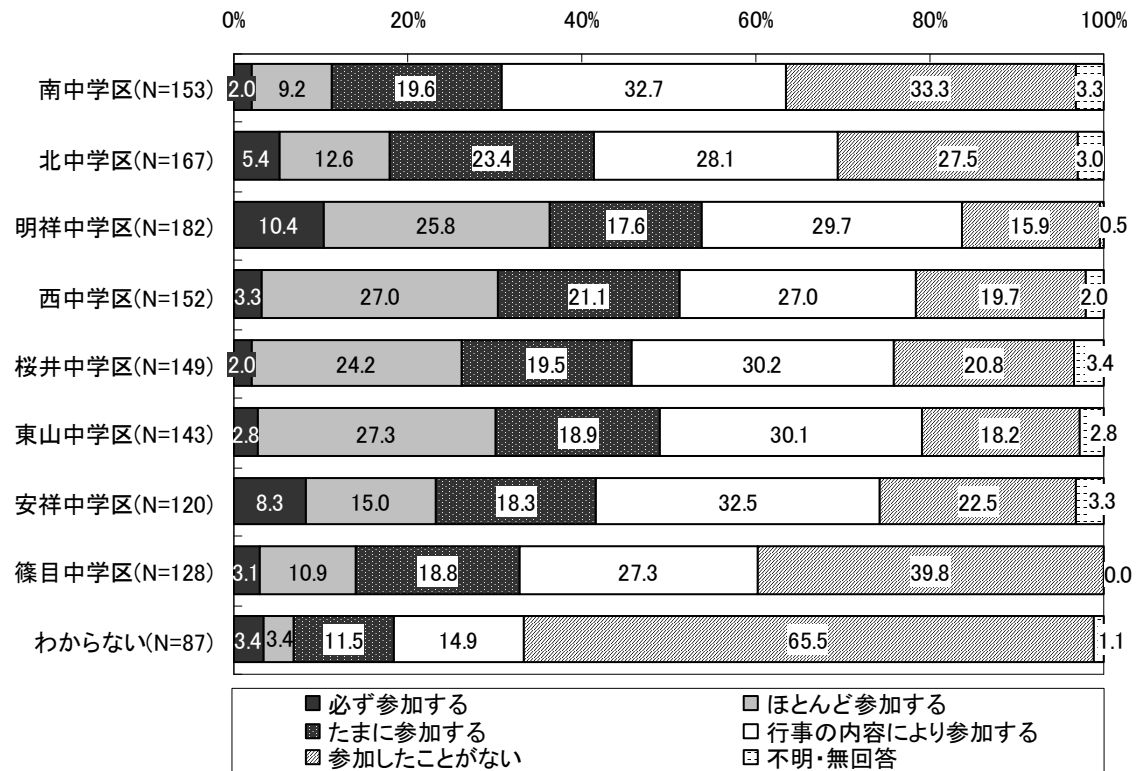
(SA)N=1,292



【年齢別クロス】



【地区別クロス】



(問 13 で「1 必ず参加する」「2 ほとんど参加する」「3 たまに参加する」「4 行事の内容により参加する」のいずれかを選んだ人におたずねします。)

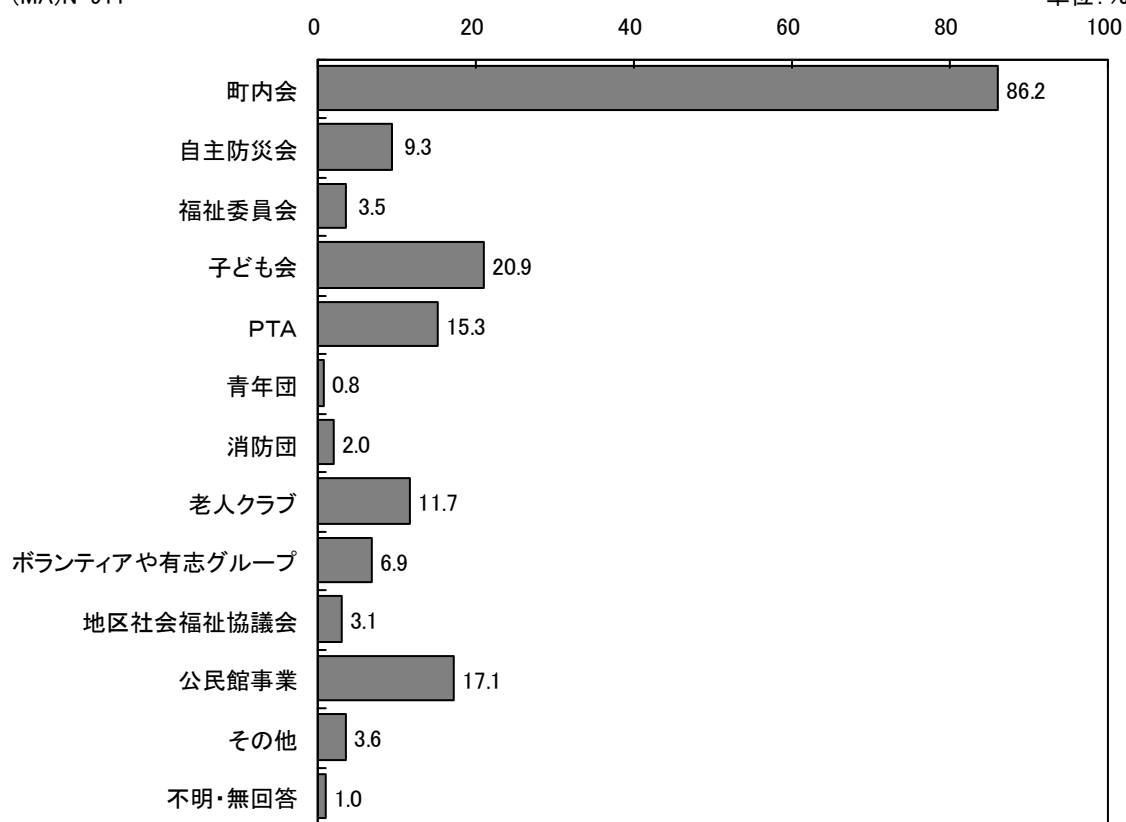
問 13-1 どの活動団体の行事などに参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「町内会」が 86.2%で最も高くなっており、次いで「子ども会」が 20.9%、「公民館事業」が 17.1%、「PTA」が 15.3%となっています。

【全体】

(MA)N=911

単位:%



問 14 現在、地域活動やボランティア活動に参加していますか。(〇は1つ)

全体では、「まったく参加したことはないが、今後参加したい」が 27.0%、「まったく参加したことはないが、今後も参加したいとは思わない」が 23.1%、「以前に参加したことがあるが、現在参加していない」が 20.7%、「参加している」が 20.5%となっています。

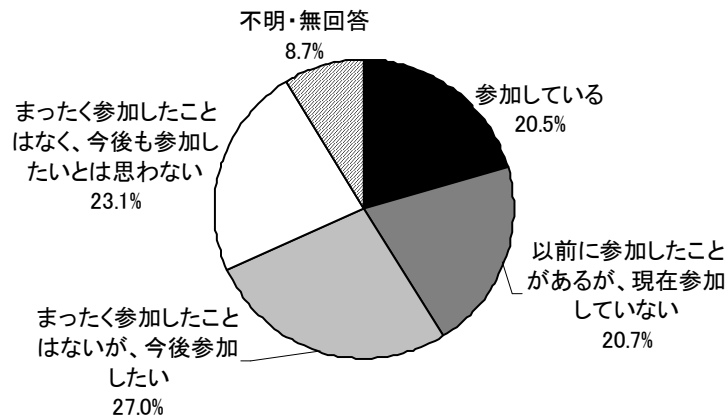
また、男女別にみると「参加している」割合は男性の方が女性より 5.0 ポイント高くなっています。

さらに、年齢別にみると『参加経験がある』（「参加している」と「以前に参加したことがあるが、現在参加していない」の合計）割合は、40 歳から 49 歳までが 52.3%で最も高くなっており、次いで 50 歳から 59 歳までが 45.4%となっています。

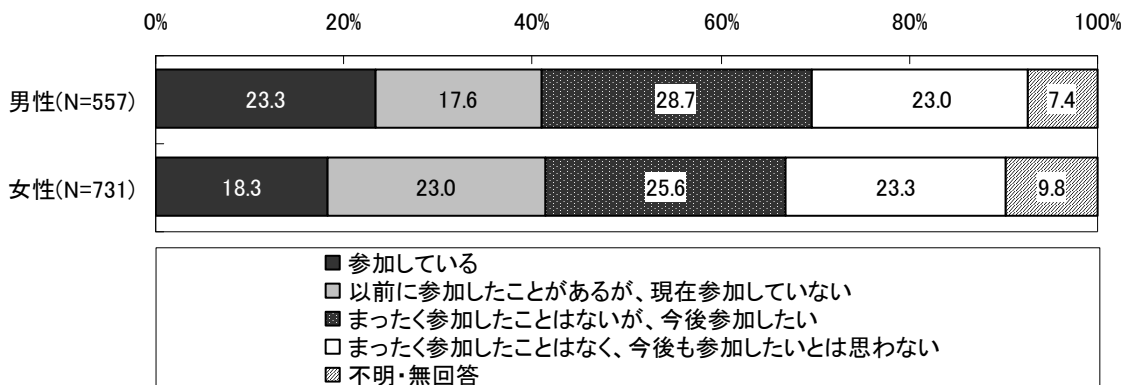
福祉に関する情報の入手程度による参加状況を見ると、情報が入手できているほど、「参加している」割合は高くなっています。

【全体】

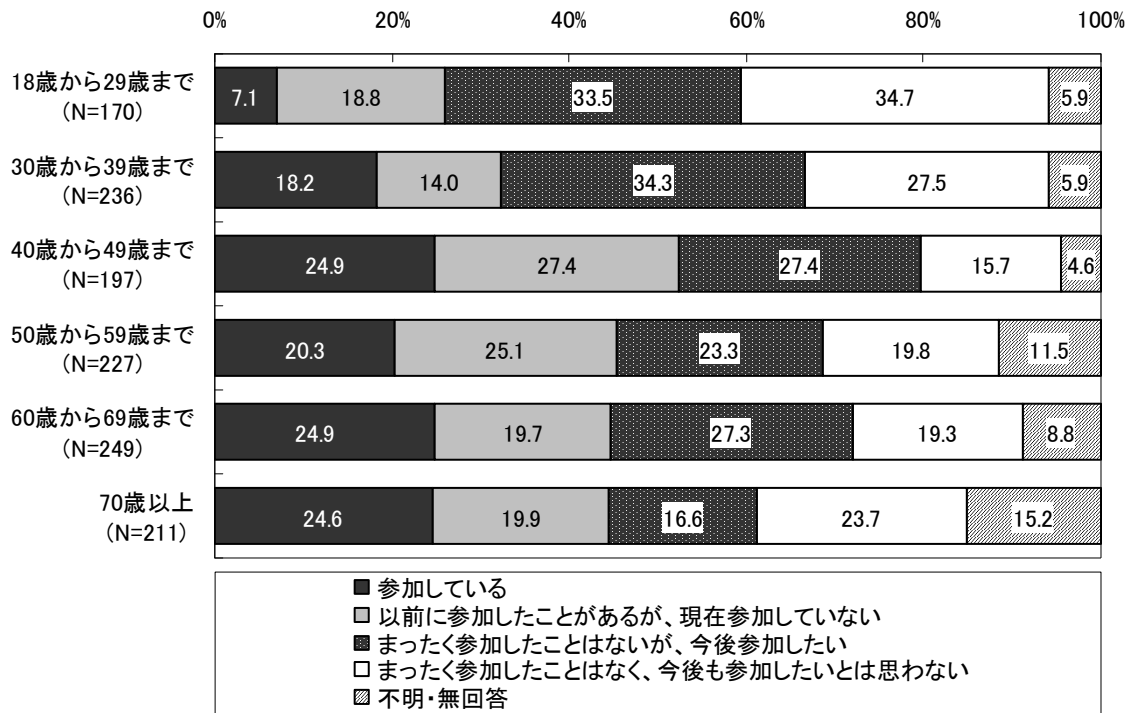
(SA)N=1,292



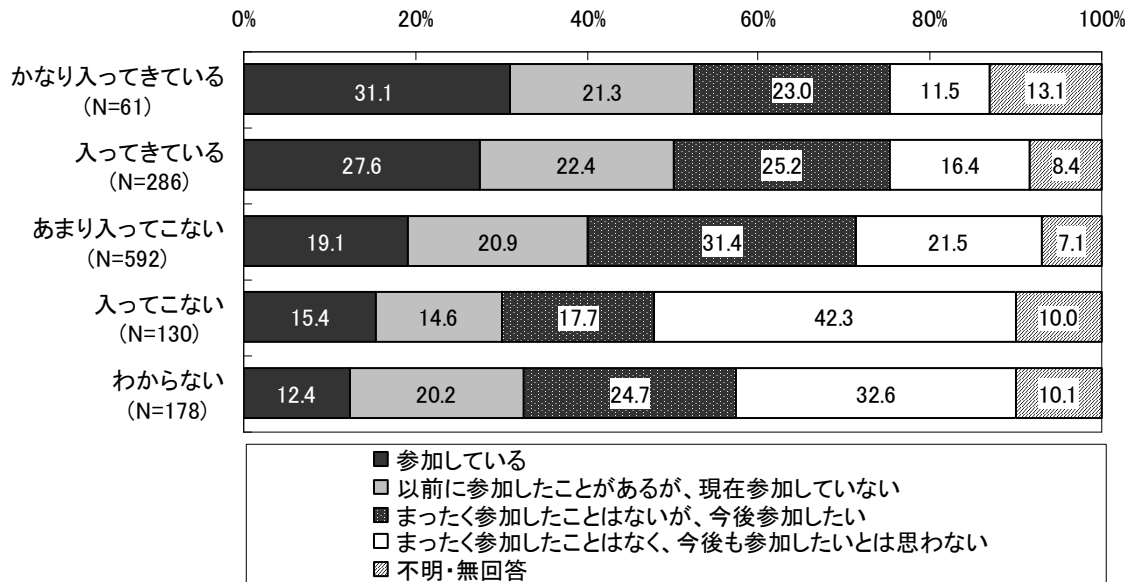
【男女別クロス】



【年齢別クロス】



【福祉情報の入手程度別クロス】



(問 14 で「1 参加している」か「2 以前に参加したことがあるが、現在参加していない」を選んだ人におたずねします。)

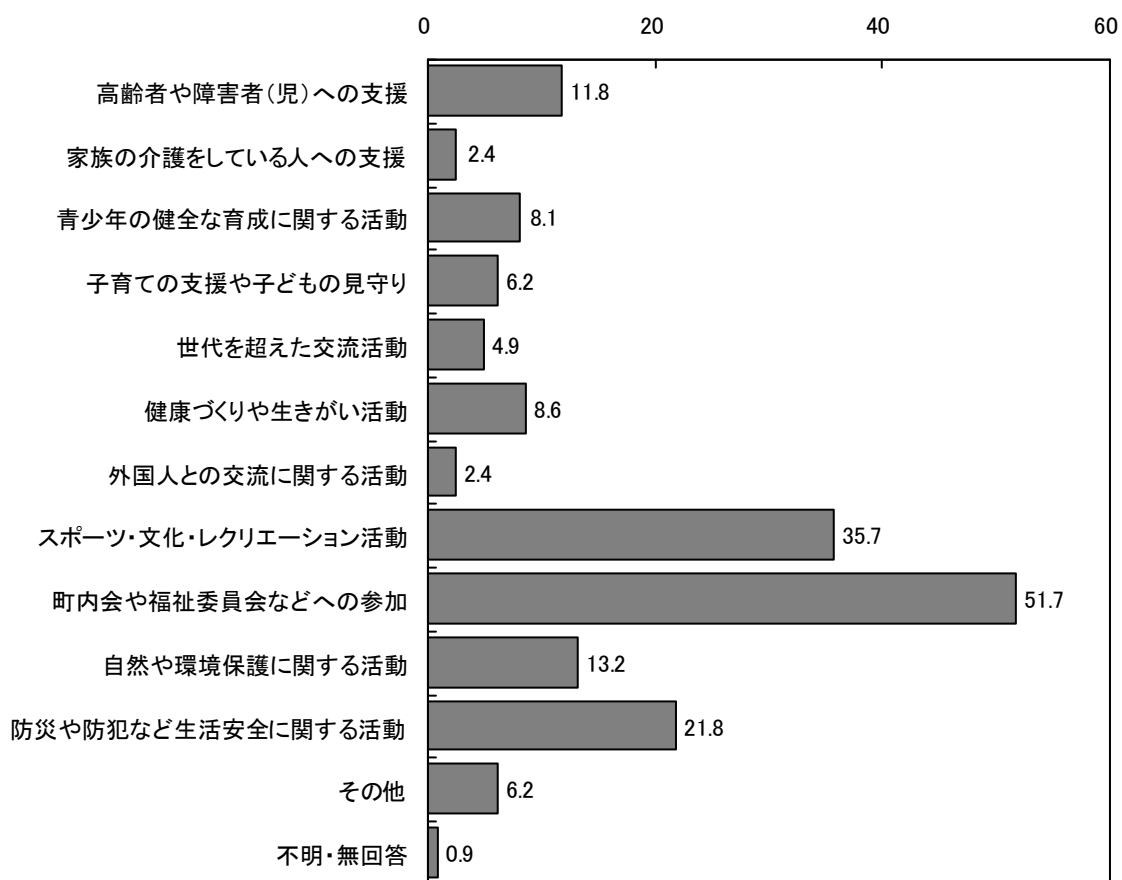
問 14-1 どのような活動をしてきましたか。(あてはまるものすべてに○)

「町内会や福祉委員会などへの参加」が 51.7%で最も高く、次いで「スポーツ・文化・レクリエーション活動」が 35.7%となっています。

【全体】

(MA)N=532

単位:%



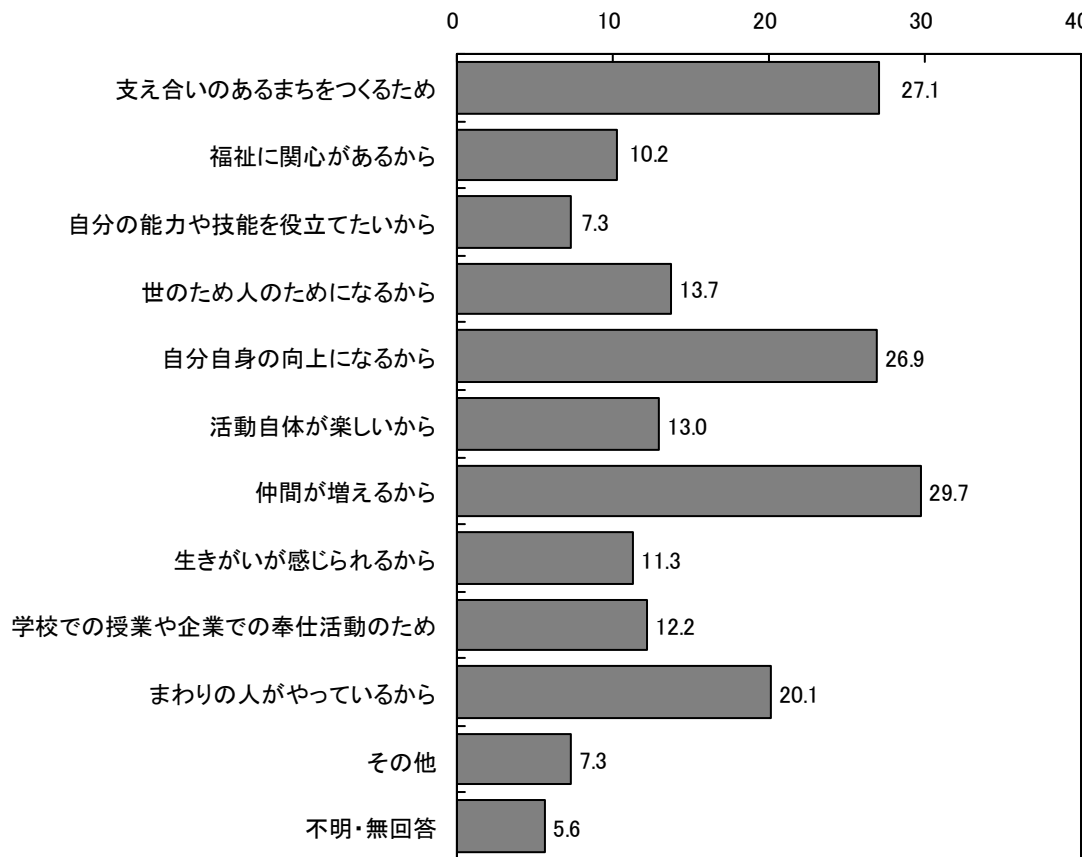
問 14-2 どのような理由から参加してきましたか。(〇は3つまで)

「仲間が増えるから」が 29.7%で最も高く、次いで「支え合いのあるまちをつくるため」が 27.1%、「自分自身の向上になるから」が 26.9%となっています。

【全体】

(MA)N=532

単位:%



(問 14 で「3 まったく参加したことはないが、今後参加したい」か「4 まったく参加したことはない、今後も参加したいとは思わない」を選んだ人におたずねします。)

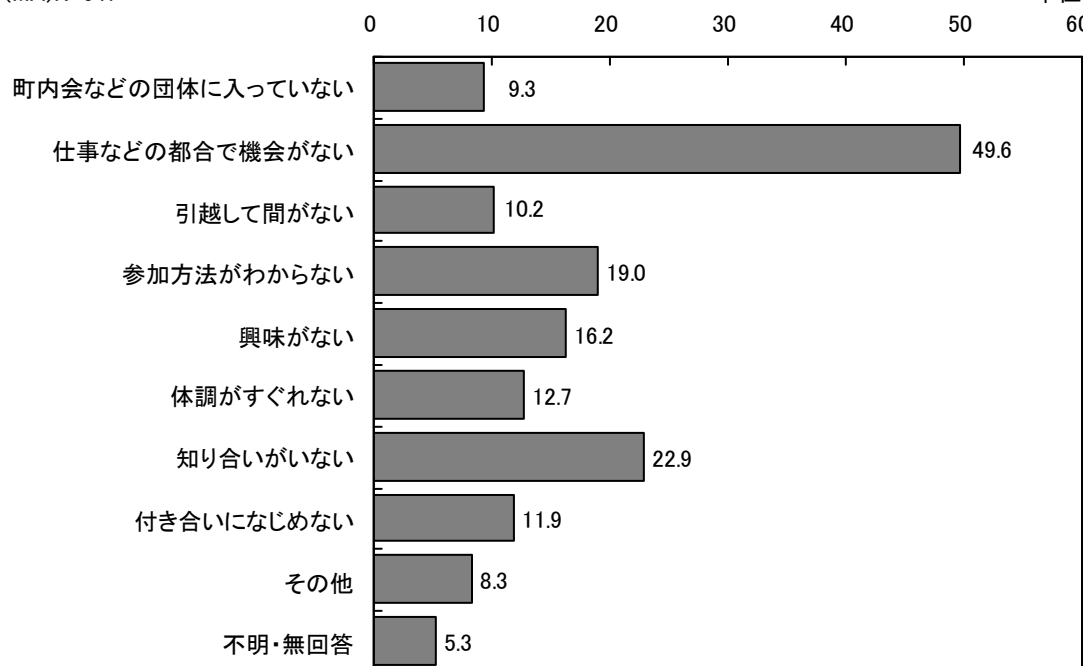
問 14-3 参加していない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「仕事などの都合で機会がない」が 49.6%で最も高く、次いで「知り合いがいない」が 22.9%、「参加方法がわからない」が 19.0%となっています。

【全体】

(MA)N=647

単位:%



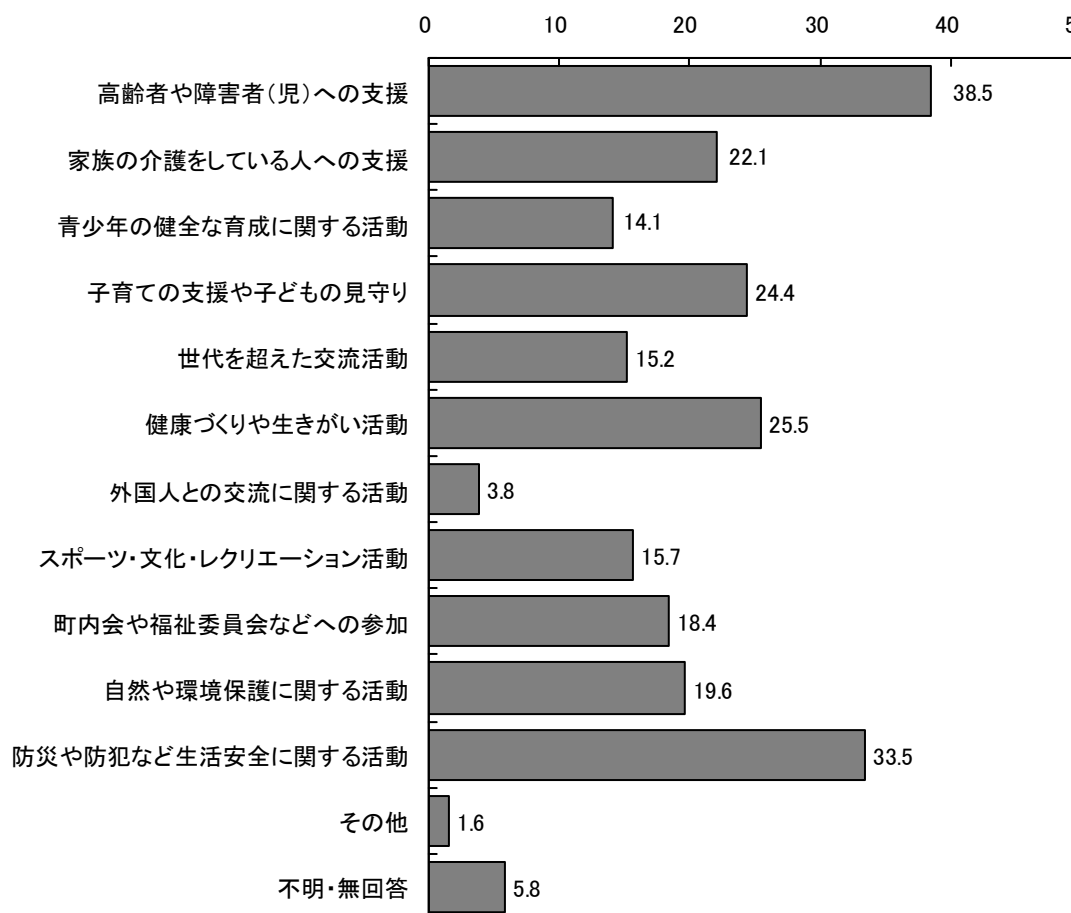
問 15 今後住みよいまちづくりを進める上で、地域住民として、どのような活動に取り組みべきですか。(〇は3つまで)

「高齢者や障害者(児)への支援」が 38.5%で最も高く、次いで「防災や防犯など生活安全に関する活動」が 33.5%となっています。また、「健康づくりや生きがい活動」(25.5%)、「子育ての支援や子どもの見守り」(24.4%)、「家族の介護をしている人への支援」(22.1%)も2割を超えて高くなっています。

【全体】

(MA)N=1,292

単位:%



問 16 どのような条件が整えば、地域活動やボランティア活動に参加しやすくなると思いますか。(〇は3つまで)

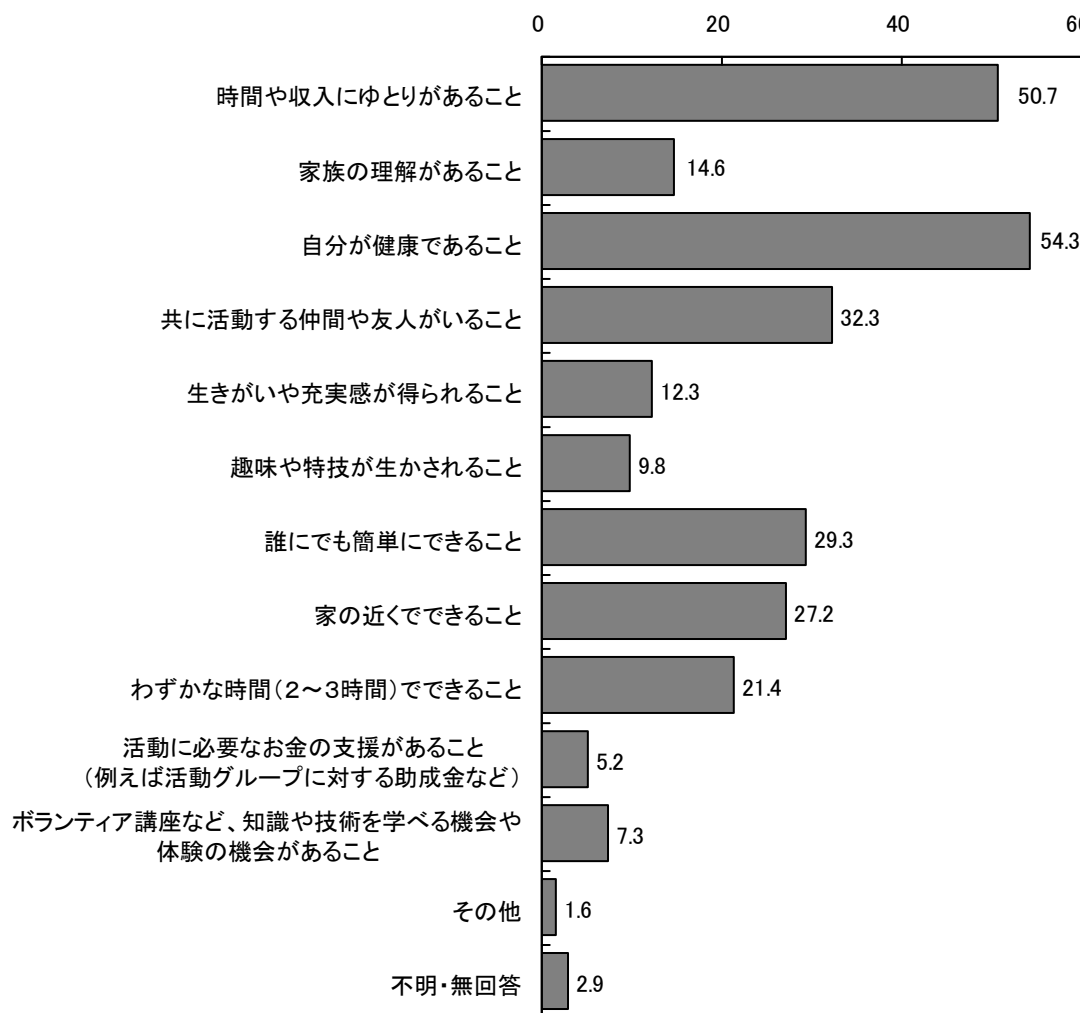
全体では、「自分が健康であること」と「時間や収入にゆとりがあること」が半数を超えて高くなっています。

また、年齢別にみると、18歳から49歳まででは「時間や収入にゆとりがあること」が、50歳以上では「自分が健康であること」がそれぞれ最も高くなっています。

【全体】

(MA)N=1,292

単位：%



【年齢別クロス】

上段:度数	時間や収入にゆとりがあること	家族の理解があること	自分が健康であること	共に活動する仲間や友人がいること	生きがいや充実感が得られること	趣味や特技が生かされること	誰にでも簡単にできること
下段:%							
18歳から29歳まで (N=170)	112 65.9	13 7.6	34 20.0	84 49.4	18 10.6	25 14.7	49 28.8
30歳から39歳まで (N=236)	151 64.0	37 15.7	64 27.1	92 39.0	29 12.3	26 11.0	79 33.5
40歳から49歳まで (N=197)	126 64.0	33 16.8	96 48.7	67 34.0	28 14.2	18 9.1	58 29.4
50歳から59歳まで (N=227)	122 53.7	36 15.9	145 63.9	70 30.8	27 11.9	21 9.3	55 24.2
60歳から69歳まで (N=249)	96 38.6	36 14.5	194 77.9	53 21.3	43 17.3	24 9.6	78 31.3
70歳以上 (N=211)	47 22.3	33 15.6	167 79.1	50 23.7	14 6.6	12 5.7	60 28.4

上段:度数	家の近くでできること	わずかな時間(2~3時間)でできること	活動に必要なお金の支援があること(例えば活動グループに対する助成金など)	ボランティア講座など、知識や技術を学べる機会や体験の機会があること	その他	不明・無回答
下段:%						
18歳から29歳まで (N=170)	37 21.8	47 27.6	11 6.5	15 8.8	6 3.5	2 1.2
30歳から39歳まで (N=236)	72 30.5	70 29.7	13 5.5	21 8.9	3 1.3	3 1.3
40歳から49歳まで (N=197)	46 23.4	46 23.4	10 5.1	15 7.6	2 1.0	4 2.0
50歳から59歳まで (N=227)	59 26.0	42 18.5	13 5.7	18 7.9	-	8 3.5
60歳から69歳まで (N=249)	66 26.5	47 18.9	11 4.4	17 6.8	5 2.0	6 2.4
70歳以上 (N=211)	70 33.2	24 11.4	9 4.3	8 3.8	5 2.4	14 6.6

福祉委員会について

問 17 福祉委員会についてどの程度ご存知ですか。(〇は1つ)

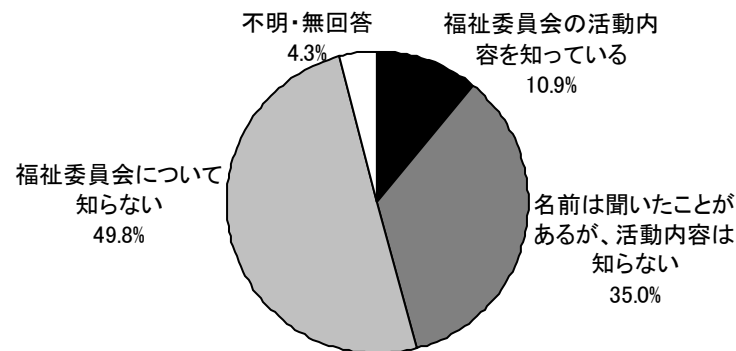
全体では、「福祉委員会について知らない」が 49.8%、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が 35.0%、「福祉委員会の活動内容を知っている」が 10.9%となっています。

また、年齢別にみると、年齢が高くなるとともに認知度も高くなっています。18 歳から 29 歳までの認知度は非常に低く、「福祉委員会の活動内容を知っている」と「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」を合わせても、わずか 15.3%となっています。

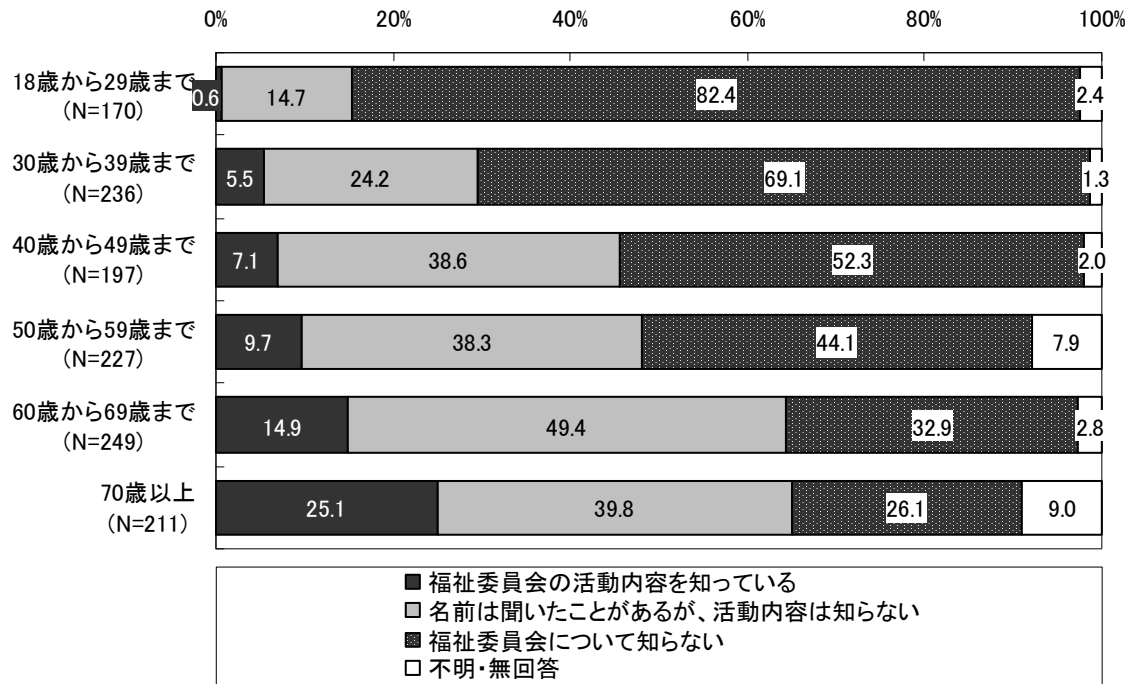
さらに、地区別にみると「福祉委員会の活動内容を知っている」が最も高いのが桜井中学区で 24.8%となっています。反対に、最も低いのが中学区がわからない方で 2.3%となっています。

【全体】

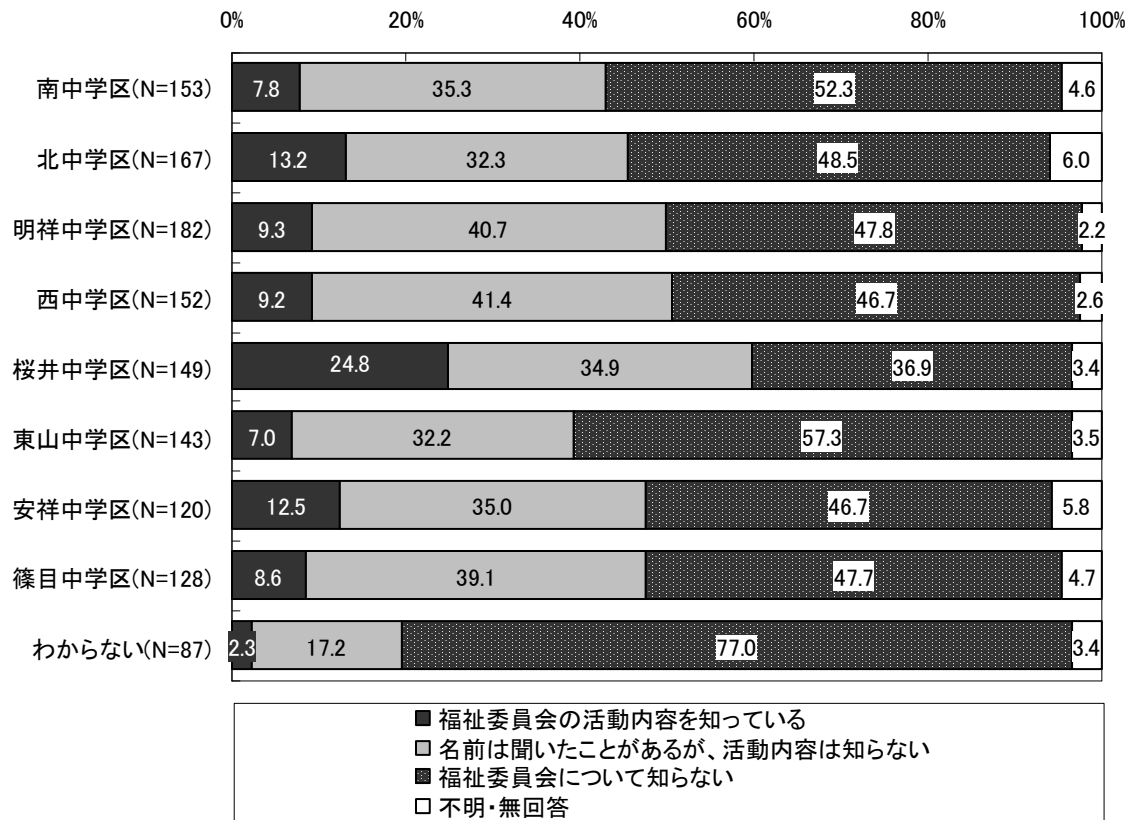
(SA)N=1,292



【年齢別クロス】



【地区別クロス】



(問 17 で「1 福祉委員会の活動内容を知っている」を選んだ人におたずねします。)

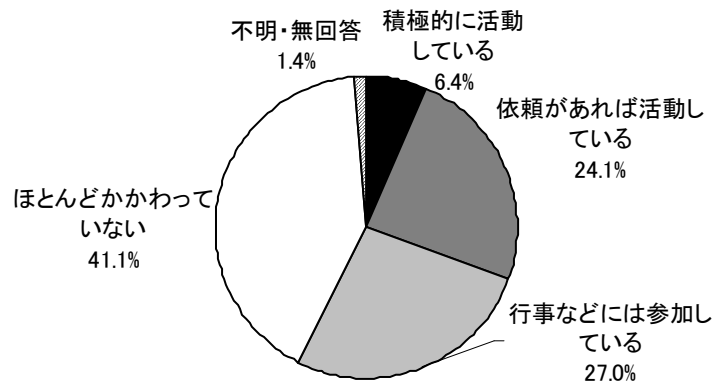
問 17-1 福祉委員会の活動についてどのぐらいかかわっていますか。(○は1つ)

全体では、「ほとんどかかわっていない」が 41.1%、「行事などには参加している」が 27.0%、「依頼があれば活動している」が 24.1%、「積極的に活動している」が 6.4% となっています。

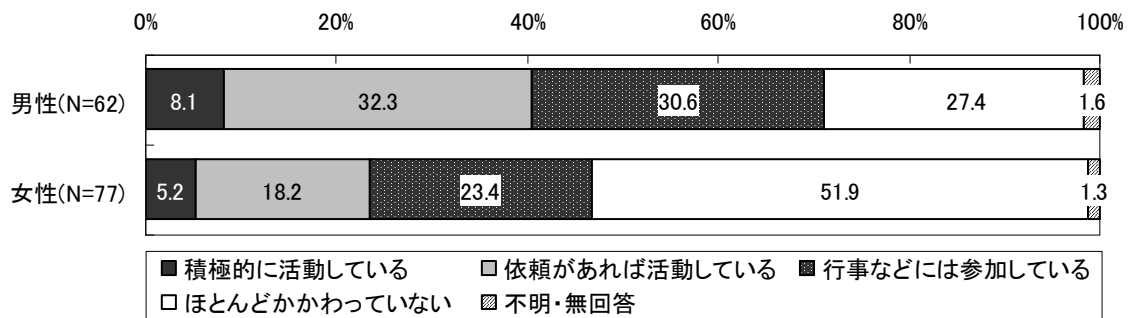
また、男女別にみると『活動している』（「積極的に活動している」と「依頼があれば活動している」の合計）は男性が 40.4%、女性が 23.4%と男性が 17.0 ポイント高くなっています。

【全体】

(SA)N=141



【男女別クロス】



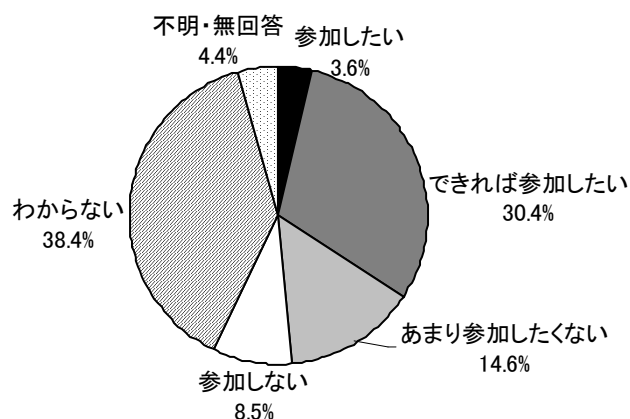
問 18 今後、福祉委員会による行事に参加する機会があれば、参加したいと思いますか。
 (〇は1つ)

全体では、「わからない」が 38.4%、「できれば参加したい」が 30.4%、「あまり参加したくない」が 14.6%、「参加しない」が 8.5%、「参加したい」が 3.6%となっています。

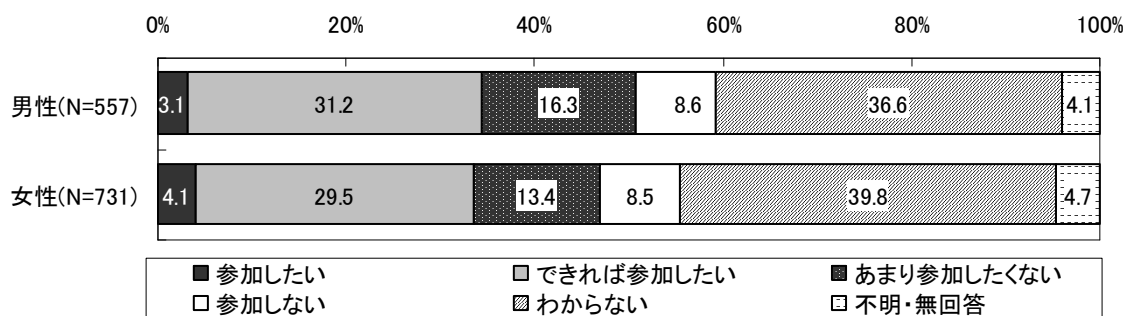
また、男女別にみると「参加したい」と「できれば参加したい」の合計は、男性が 34.3%、女性が 33.6%となっています。

【全体】

(SA)N=1,292



【男女別クロス】



災害について

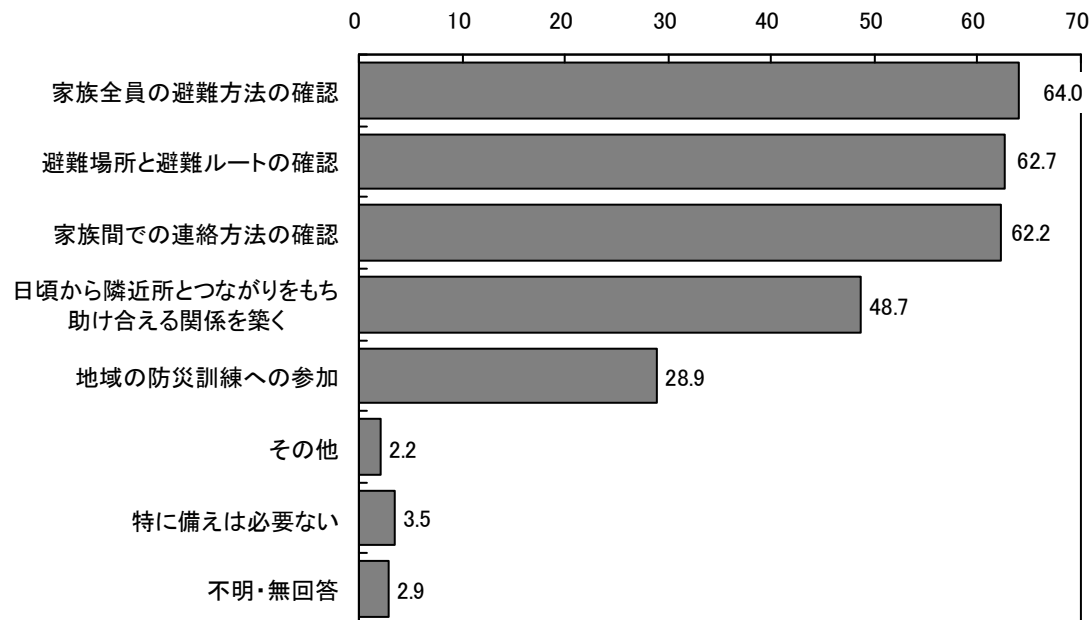
問 19 大地震などの災害に備えて、各家庭で日頃からどのような備えが必要だと思いますか。(家の耐震化、家具固定、防災用品の備えを除いて)(あてはまるものすべてに○)

全体では、「家族全員の避難方法の確認」が64.0%で最も高く、次いで「避難場所と避難ルートの確認」が62.7%、「家族間での連絡方法の確認」が62.2%と6割を超えて高くなっています。

【全体】

(MA)N=1,292

単位：%



問 20 大地震などの災害に備えて、地域でどのような備えが必要だと思いますか。(防災用品の備えを除いて)(あてはまるものすべてに○)

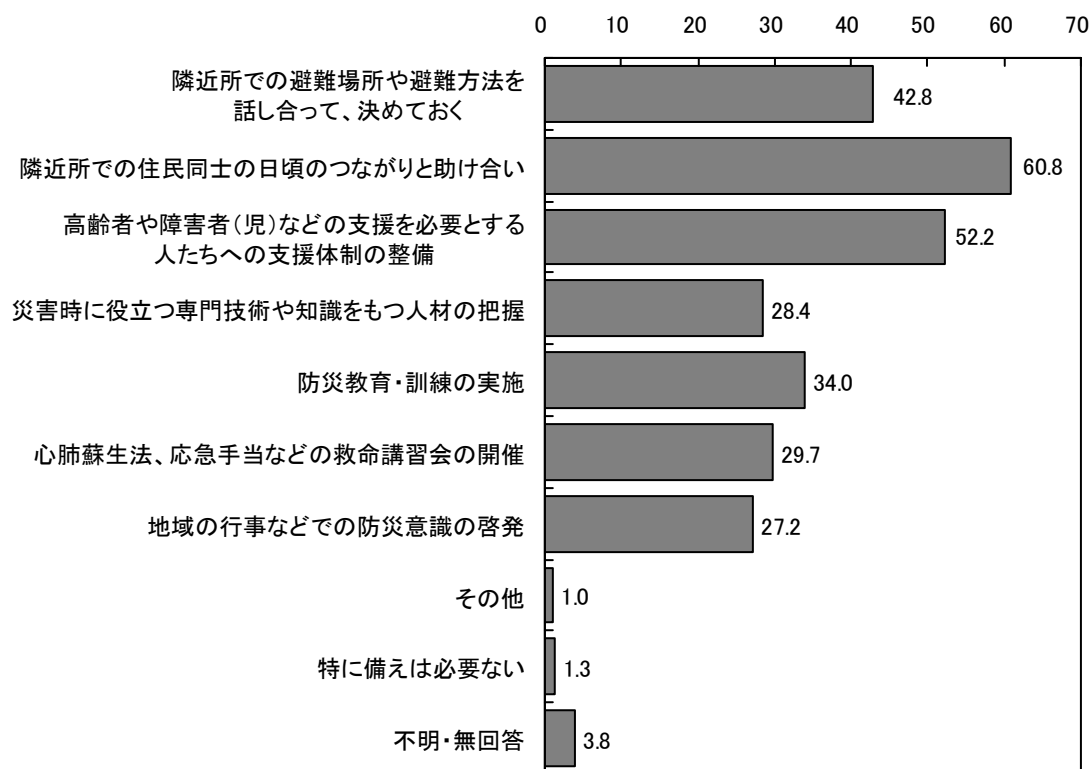
「隣近所での住民同士の日頃のつながりと助け合い」が60.8%、「高齢者や障害者(児)などの支援を必要とする人たちへの支援体制の整備」が52.2%となっています。

また、地区別にみると、中学区がわからない方のみ「高齢者や障害者(児)などの支援を必要とする人たちへの支援体制の整備」が最も高く、その他の地区では全て「隣近所での住民同士の日頃のつながりと助け合い」が最も高くなっています。

【全体】

(MA)N=1,292

単位: %



【地区別クロス】

上段:度数	隣近所での避難場所や避難方法を話し合っ て、決めておく	隣近所での住民同士の日頃のつな がり助け合い	高齢者や障害者(児)などの支 援を必要とする人たちへの支 援体制の整備	災害時に役立つ専門技術や知 識をもつ人材の把握	防災教育・訓練の実施
下段:%					
南中学区 (N=153)	60 39.2	97 63.4	79 51.6	48 31.4	48 31.4
北中学区 (N=167)	81 48.5	99 59.3	95 56.9	52 31.1	62 37.1
明祥中学区 (N=182)	67 36.8	108 59.3	87 47.8	44 24.2	59 32.4
西中学区 (N=152)	73 48.0	92 60.5	77 50.7	47 30.9	61 40.1
桜井中学区 (N=149)	69 46.3	98 65.8	87 58.4	48 32.2	45 30.2
東山中学区 (N=143)	64 44.8	89 62.2	75 52.4	35 24.5	52 36.4
安祥中学区 (N=120)	53 44.2	81 67.5	61 50.8	29 24.2	36 30.0
篠目中学区 (N=128)	49 38.3	79 61.7	70 54.7	37 28.9	43 33.6
わからない (N=87)	33 37.9	39 44.8	41 47.1	27 31.0	31 35.6

上段:度数	心肺蘇生法、応急手 当などの救命講習会の開 催	地域の行事などでの防 災意識の啓発	その他	特に備えは必要ない	不明・無回答
下段:%					
南中学区 (N=153)	50 32.7	38 24.8	-	1 0.7	4 2.6
北中学区 (N=167)	54 32.3	44 26.3	4 2.4	1 0.6	5 3.0
明祥中学区 (N=182)	49 26.9	50 27.5	-	5 2.7	8 4.4
西中学区 (N=152)	55 36.2	48 31.6	2 1.3	1 0.7	8 5.3
桜井中学区 (N=149)	38 25.5	49 32.9	1 0.7	2 1.3	2 1.3
東山中学区 (N=143)	47 32.9	40 28.0	-	1 0.7	2 1.4
安祥中学区 (N=120)	36 30.0	32 26.7	1 0.8	5 4.2	6 5.0
篠目中学区 (N=128)	34 26.6	30 23.4	-	1 0.8	6 4.7
わからない (N=87)	20 23.0	20 23.0	5 5.7	-	4 4.6

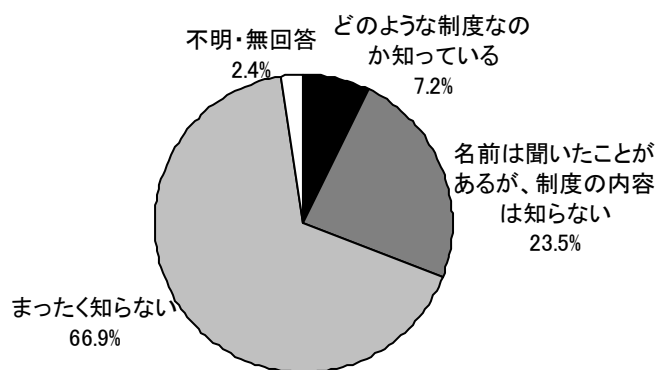
問 21 安城市では災害から要援護者を守るため、「災害時要援護者支援制度」を実施していますが、この制度についてどの程度ご存知ですか。(〇は1つ)

全体では、「まったく知らない」が 66.9%、「名前は聞いたことがあるが、制度の内容は知らない」が 23.5%、「どのような制度なのか知っている」が 7.2%となっています。

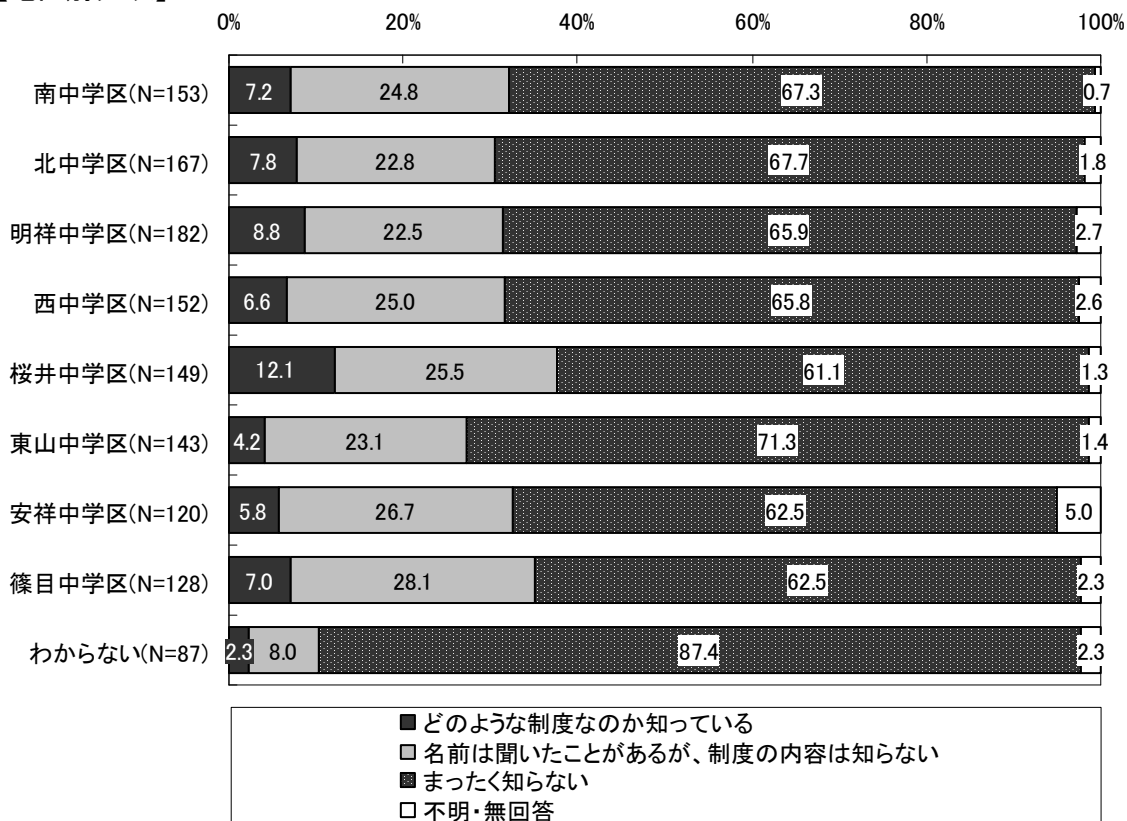
また、地区別にみると「どのような制度なのか知っている」が最も高いのは桜井中学区で 12.1%となっており、反対に最も低いのは中学区がわからない方で 2.3%となっています。

【全体】

(SA)N=1,292



【地区別クロス】



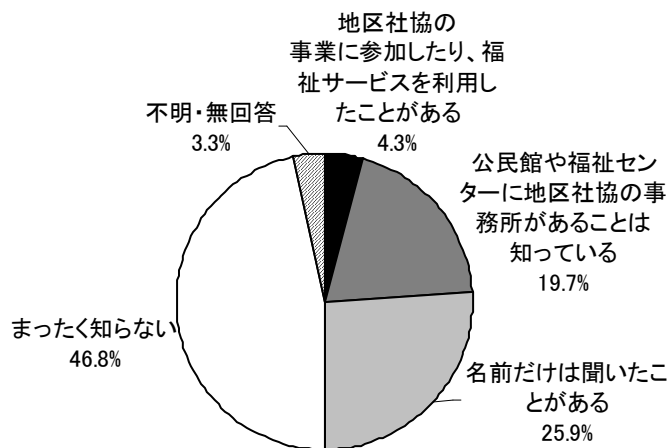
社会福祉協議会について

問 22 市内8中学校区ごとに、地区社会福祉協議会（地区社協）が地域福祉の推進組織として設置されていますが、どの程度ご存知ですか。（〇は1つ）

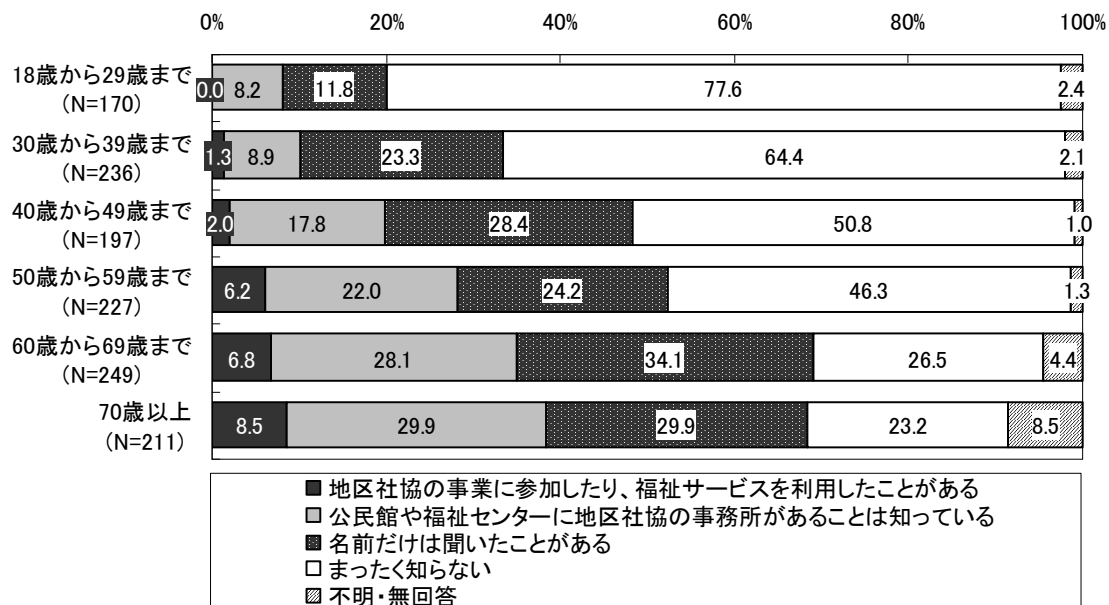
全体では、「まったく知らない」が46.8%、「名前だけは聞いたことがある」が25.9%、「公民館や福祉センターに地区社協の事務所があることは知っている」が19.7%、「地区社協の事業に参加したり、福祉サービスを利用したことがある」が4.3%となっています。また、年齢別にみると利用度や認知度は年齢とともに高くなっています。

【全体】

(SA)N=1,292



【年齢別クロス】



これからの地域の福祉のあり方について

問 23 これからの地域福祉は、何を重点にすべきだと思いますか。(〇は3つまで)

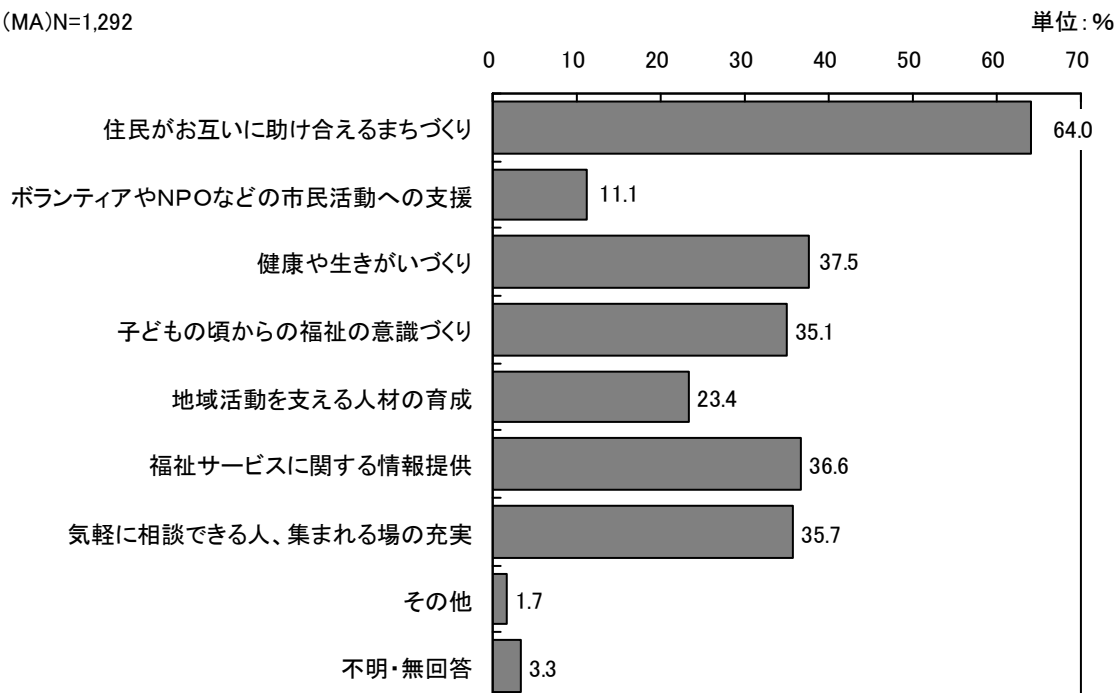
全体では、「住民がお互いに助け合えるまちづくり」が64.0%で最も高く、次いで「健康や生きがいづくり」が37.5%、「福祉サービスに関する情報提供」が36.6%、「気軽に相談できる人、集まれる場の充実」が35.7%、「子どもの頃からの福祉の意識づくり」が35.1%となっています。

また、男女別にみると、男女ともに「住民がお互いに助け合えるまちづくり」が最も高くなっていますが、「子どもの頃からの福祉の意識づくり」については、女性が男性を9.5ポイント上回っているなど、男女で違いがみられます。

さらに、年齢別、地区別でも、「住民がお互いに助け合えるまちづくり」が全ての年齢、地区において最も高くなっています。

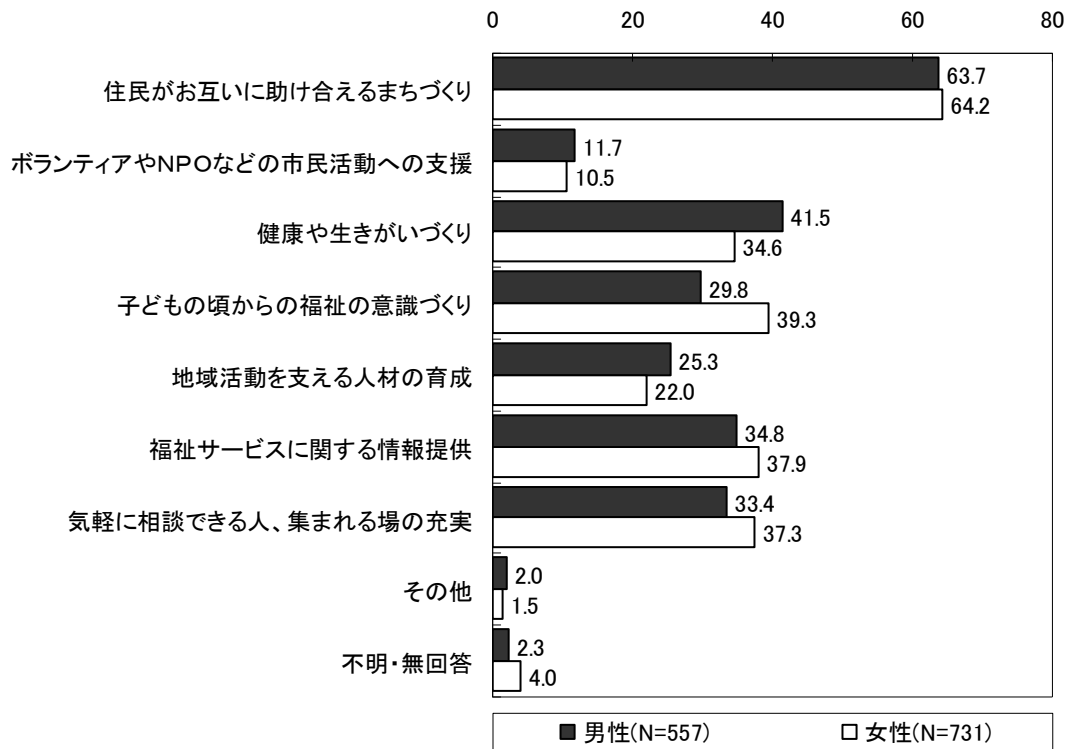
【全体】

(MA)N=1,292



【男女別クロス】

単位：%



【年齢別クロス】

上段:度数	住民がお互いに助け合えるまちづくり	ボランティアやNPOなどの市民活動への支援	健康や生きがいづくり	子どもの頃からの福祉の意識づくり	地域活動を支える人材の育成
下段:%					
18歳から29歳まで (N=170)	96 56.5	22 12.9	55 32.4	68 40.0	34 20.0
30歳から39歳まで (N=236)	130 55.1	33 14.0	57 24.2	106 44.9	57 24.2
40歳から49歳まで (N=197)	130 66.0	27 13.7	57 28.9	79 40.1	42 21.3
50歳から59歳まで (N=227)	150 66.1	21 9.3	104 45.8	83 36.6	66 29.1
60歳から69歳まで (N=249)	168 67.5	28 11.2	114 45.8	79 31.7	60 24.1
70歳以上 (N=211)	151 71.6	12 5.7	98 46.4	38 18.0	43 20.4

上段:度数	福祉サービスに関する情報提供	気軽に相談できる人、集まれる場の充実	その他	不明・無回答
下段:%				
18歳から29歳まで (N=170)	64 37.6	60 35.3	7 4.1	5 2.9
30歳から39歳まで (N=236)	101 42.8	94 39.8	2 0.8	6 2.5
40歳から49歳まで (N=197)	91 46.2	60 30.5	2 1.0	3 1.5
50歳から59歳まで (N=227)	73 32.2	67 29.5	2 0.9	3 1.3
60歳から69歳まで (N=249)	75 30.1	98 39.4	6 2.4	9 3.6
70歳以上 (N=211)	68 32.2	81 38.4	3 1.4	16 7.6

【地区別クロス】

上段:度数	住民がお互いに助け合えるまちづくり	ボランティアやNPOなどの市民活動への支援	健康や生きがいづくり	子どもの頃からの福祉の意識づくり	地域活動を支える人材の育成
下段:%					
南中学区 (N=153)	94 61.4	17 11.1	55 35.9	56 36.6	40 26.1
北中学区 (N=167)	108 64.7	15 9.0	56 33.5	64 38.3	36 21.6
明祥中学区 (N=182)	122 67.0	15 8.2	75 41.2	56 30.8	41 22.5
西中学区 (N=152)	95 62.5	20 13.2	59 38.8	58 38.2	38 25.0
桜井中学区 (N=149)	98 65.8	17 11.4	51 34.2	58 38.9	31 20.8
東山中学区 (N=143)	96 67.1	13 9.1	66 46.2	50 35.0	33 23.1
安祥中学区 (N=120)	79 65.8	17 14.2	49 40.8	34 28.3	25 20.8
篠目中学区 (N=128)	82 64.1	16 12.5	43 33.6	45 35.2	32 25.0
わからない (N=87)	48 55.2	13 14.9	28 32.2	30 34.5	25 28.7

上段:度数	福祉サービスに関する情報提供	気軽に相談できる人、集まれる場の充実	その他	不明・無回答
下段:%				
南中学区 (N=153)	57 37.3	58 37.9	3 2.0	7 4.6
北中学区 (N=167)	56 33.5	61 36.5	3 1.8	5 3.0
明祥中学区 (N=182)	65 35.7	61 33.5	1 0.5	4 2.2
西中学区 (N=152)	45 29.6	61 40.1	3 2.0	5 3.3
桜井中学区 (N=149)	54 36.2	60 40.3	1 0.7	3 2.0
東山中学区 (N=143)	52 36.4	42 29.4	2 1.4	2 1.4
安祥中学区 (N=120)	50 41.7	39 32.5	2 1.7	5 4.2
篠目中学区 (N=128)	57 44.5	46 35.9	2 1.6	4 3.1
わからない (N=87)	35 40.2	30 34.5	5 5.7	3 3.4

自由回答

<p>がんばって下さい。</p>
<p>知らない（知り合いのいない）土地に来て、いろいろな講座や教室への参加を試みているが、なかなか知り合いができないというのが現実である。今の時代、知り合いをつくるのも難しいのかな、と感じている日々である。引っ越してきた人を対象に又は知り合いのいない人を対象にした何らかの集まりをつくっていただけるといいなあと思う。赤ちゃんが生まれれば、子育てサークルや会がいくつかあるが、子どもがいない主婦というのは身軽ではあるが共通の知り合いができていくように思う。昼間の講座や教室は先輩主婦が多く、同年代の人になかなか出会えません。</p>
<p>市民ホールや市民センターなどはあまり作らないほうが良い。税金の無駄。年間で少しの期間しか使用しない物は作らないで欲しい。小学校も人数の多いところも少ないところも有り小学校はもういらぬ。子どもが少なくなるのにいらぬ。公園なども作らないで欲しい。多すぎる。</p>
<p>もっと参加できると良いが、仕事、家の事でやらなければいけないことがけっこう沢山あり、なかなか時間的に余裕がないのが現状である。</p>
<p>小学校の近くには歩道橋があるが、あれはとても“不親切”な物だと思う。車いすの子ども等もいると思うので、ベビーカーの方、御高齢の方などはとても使えません。私も時に自転車で通る事があるが、勾配がきつくてとても大変である。歩行者のためにやさしいバリアフリーの道路を使って下さい。歩道橋を使える方は自分が車いすに乗ってこの橋を渡れるかどうか、御自分の親の事など考えてみて下さい。自動車を坂道へ行くように、歩行者は平らな道をお願いしたい。</p>
<p>私の町内には、いろいろな方が住んでみえる。一例・ひとり暮らし老人でありながら、町内会未加入。老人クラブ未加入、近隣との付き合いゼロ。しかし災害時要援護者支援だけはお願いしたいと、誠に身勝手な方がいる。私は住民同士が日頃の付き合い・つながりを大切にしてこそ安心して住みよい町づくりができるのだと思う。身勝手な方は末端の町内会、民生委員、福祉委員に任せるのではなく、市、社協で説得するなどの対策をお願いしたい。</p>
<p>夜道が暗すぎるのもっと街灯を増やしてほしいと思う。</p>
<p>障害者でも気楽に集まれる場所が欲しい。</p>
<p>税金を上げない。市民の話をよく聞く市政である事。</p>
<p>会社員はなかなか地域活動に参加しにくいために企業のボランティア活動を通した中での活動に参加していくと促進されると思われる。</p>

<p>暗い所を通るのが不安である。もっとたくさんの街路灯で明るい安全な町にして欲しい。新安城駅にエレベーターなど階段を使わずにホームへ出られるバリアフリー化をお願いしたい。新安城駅横の通称「開かずの踏切」を早く解消して欲しい。</p>
<p>福祉のことをもっと詳しく知りたい。まわりに話をする人がいない。立ち話をする人がいない。</p>
<p>必要な人に必要な時、きちんと提供出来るためであれば、税金が少し増える事やボランティアなどは否定するものではありません。きちんと市民から集めたお金や労力を使って下さると、とても嬉しい。</p>
<p>福祉というのは採算があらわれないという視点で考えるものではないと思う。あんくるバスも福祉事業だと思う。お年寄りの足と考えるなら、利用者が少なくとも便利になるようバスの本数を増やすとか路線を増やしてもっと便利で利用しやすいものにすべきだと思う。安城は車がないとどこへも行けない市だと思う。高齢者や障害者が気楽に出歩けるよう、交通手段をもっと考えて欲しいと思う。</p>
<p>高齢化が進んでいるので、市役所に出掛けることが難しいお年寄りが増えると思う。市役所の出張所みたいな場所を増やして欲しい。</p>
<p>少子化に伴い、医療費の無料化などで子どもの数を増やそうとする行政の動きがあるが、このままでは弱い子どもの数が増えるだけだと思う。少しの熱や鼻水、咳などだけで、すぐに医者にかかり、薬をもらい薬を飲ませる。薬も化学物質なので、強くなろうとしている体を弱らせてしまう。幼い頃に強い体を作っておく事が大切だと思う。医療費を無料という事は、ただでさえ混んでいる病院をもっと混雑させ、災害が起きた時など、大変な事になると思う。各家庭での体調管理をしっかりしていく事が必要だと思うし、障害や重病の子の医療費を無料にし、他の子には選択できる制度作りをして頂きたい。（例えば病院を利用しない子には図書カードを支給とか。）我が家には小学生の子ども2人と年末あたりに新しい命が1人増える予定です。これからの日本を背負って行く子どものために何が今必要なのかを考えて頂きたいと思う。</p>
<p>新しい道路が出来ても行き止まりの所が多く作られ、交差点近くでカーブしている所が多く見通しが悪い所が多い。なるべく直線に近い道をつくるべきである。修正して下さい。</p>
<p>町内会活動を中心に福祉、自主防災活動を町民に機会あるごとに働きかけ、1人でも多くの方をまき込んだ活動としていきたい。</p>
<p>町の有力者の意見ばかり聞くのではなく、弱い立場の人の意見こそ参考にして、町づくりを進めて欲しいと思う。</p>
<p>近所の住民との都合が問題である。</p>
<p>もっとPRを期待する。</p>

<p>最近、自動車運転マナーの悪い人が多い様に感じられる。特に、夜間はひどく、交通事故が多発する要因がここにあると思う。取り締まりの強化をお願いしたい。(交通事故による障害者増加等も考えて下さい。)</p>
<p>自分でやれるうちは自分の力でやりたいと思っている。やれない時は介護をたよりにする。</p>
<p>今、安城市街地区内の歩道が雨の日はすべりやすく、自転車・ベビーカー・車イス等で走っていると、ゴツゴツしてすごく悪いので歩道をもっと整備して頂きたいと思う。</p>
<p>最近工場の進出や産業の活発化で主たる道路に車が増加し、比例する様に走るスピードも速くなってきている。道路に接した住民は騒音や振動に不安さえ感じている。歩道を歩いても車に吸い込まれそうになる。老人も子どもも。車のスピードを遅くする事はできないでしょうか。よろしくをお願いします！</p>
<p>安城は他の市と比べると福祉に関しては遅れているように思う。もっと弱者に優しく住みやすい市にして欲しい。お役所的な物の考えだけで弱者に接して欲しくありません。</p>
<p>まだ知らない事が多くありもっとPRをして下さい。</p>
<p>私は70歳代の年金生活者である。介護保険料は上がり、年金は少なくなるという暮らしの中で病気になった時のことにとっても不安を感じている。老々介護はとても無理なこと、老人保健施設は少なくとても入所の希望は持てないと聞く。老人が増えている中で、そのようなことをしっかりと考えて頂きたいと思う。</p>
<p>今回のアンケートを通して、福祉についてよく知らなかったと気付いた。これからは、地域活動に参加し、理解を深めたいと思う。「福祉」を他人事と思わず、出来る事から参加したいと思う。</p>
<p>まだ子どもが小さいので、子どもがインドアで安全に遊べる少し大きめの施設があるとうれしい。</p>
<p>今、桜井、三河安城地域の開発が著しくて地域格差が出てきているように感じられる。交通標識のお願いをしてもなかなかつけてもらえない、死者が出ない限り無理なのか。カーブミラーなど進入禁止標識は一方からだけではなく、三方から見えるようつけてもらいたい。</p>
<p>市外在住でしたが出産のために子どもを保育園に入れたいと相談したところ、子どもと私の住民票を移して下さいと言われた。私の住んでいた市では広域入所をやっており、安城市はやってないと言われ、とても残念に思った。まだ保育料も高い年齢であり、主人の会社の家族手当もなくなり、これから子どもが産まれるのに経済的にすごく厳しいものがある。私の両親も働いているので、保育園に入れないとすごく困る状況であるので、福祉に力を入れていると聞いていたのに全然そうではないと感じている。少子化問題も深刻と聞くので、こんな状況では子どもを産みたくても産めないと思う。せめて広域入所が出来るとか対策して頂きたい。</p>

引っ越してきたばかりだと地域の地理が分からなく不便である。すぐに地図などがもらえると便利かと思う。

現在も各講習会等が開催されているが、もっと身近でかつ気軽に行ける講座等の企画等があると意識が高まるのではないのでしょうか。また、今の時代、子どもたちも、様々な事情を抱えた様々な家庭があるので、居場所づくりなどをはじめ、「話す相手」のあるということと、自分のことを待っていてくれる人が必ずいるということ、自分にもやれること等、見出せるきっかけづくりの場所が大切だと思う。

皆で助け合って明るい住み良い町にして安城市の発展のため、生きて行きたい安心な町にしたい。

介護施設から車で帰られても出迎えもしない家庭をみる。農業が忙しいようであるが、高齢者の方がうろうろしたり、介護施設の方が困ってみえる事がある。出迎える方も毎日だととても大変である。こんな事でも、なんとかならないかと思う。特別養護施設もベッドが空かず入れない。高い料金で入れられない。地域で助け合うことも必要ですが、重度の介護の必要な方がもっと入れる施設がいるのではと思う。老人病院も長期入院は出来ず、病院を次々と変えれば入院できる。こんな制度はおかしいと思う。

治安の悪化や少年犯罪の低年齢化にとっても不安を感じている。我が家は子どもが娘ばかりなので特に心配である。少しずつ各地域で防犯のための動きがある事を感じ、心強く思うが、新聞やニュースで毎日のように「殺人」等という記事を見聞きすると、大丈夫なんだろうかと心配になる。何十年と安城に住んでいるが、とても住みよい街だと思っている。

今回のようなアンケートも良いがもっと地域へ出て実状がどうなのか、どうなっているのかを行政の人が感じとって頂きたい。

記入にあたってのお願いにご家族の方や一緒にお住まいの方に相談しても良いとあるが、このアンケートが夫婦に一通ずつ届いた。一家族に一通で良いのではないか。税金は大切に使って欲しい。

子ども（4歳以下）が遊べる場所が刈谷市に比べて少ない。老人が今後増えていくので公民館以外にも趣味が楽しめる場所の確保や交通手段がない老人への対応をしっかりとって欲しい。中学卒業まで医療費ゼロを実現して欲しい。

福祉が大切なことはわかるが、中間の世代の負担が非常に大きくて困っている。自分の子育てに加え、子ども会、町内会、福祉等々でストレス過大で反感すら感じる時がある。税負担も増える一方である。ところが周りを見ると元気な定年組がいつもゆうゆうと遊んでいる。もっと、定年組を活用した方が良いと思う。

<p>安城市は非常に住み心地もよく自分も結婚を機会に豊田市より引っ越して来た。まだまだ市の事が伝わりにくい感じがある。いろいろな手段（DMなど）で広めても良いのでは。田んぼもたくさんあり、自然に囲まれ、環境も良い反面、「農家の方々のマナー」（一部）が非常に良くないと思う。朝5時過ぎから農機具を使ったり、一方通行の逆走、農道とは言え車を何台も停め、通行の妨げなど…。皆が「ルールとマナー」を守れば安城は最高だと思う！</p>
<p>明祥学区道路の信号機が極めて少ない。特に根崎地区は危険な交差点が多いので高齢者は神経を使い過ぎるので善処の程をお願いしたい。</p>
<p>住みよい町とは隣近所の方と気やすく声をかけたり話したりすることが第一だと思うが引っ越して数年である事とパート勤めで家にいなかったりでなかなか近所の方とうちとけて話せない。今後、年をとって多くの友人が近隣で出来るか不安がある。自分から友人はつくるものと思っているが若い頃のように子どもを通じてとか、学校・PTAの行事でよく顔を合わせるような機会がなくなった年齢であるのでどのように行動しているのかわからない。</p>
<p>あんくるバスが便利で良いので、もっと本数を増やして欲しい。</p>
<p>安城市は他の地域に比べて40歳以下の定期健康診断の金額が高いので、金額などを考えて欲しい。</p>
<p>部が違うとは思いますが、信号機や横断歩道などの設置が望ましい。場所があるので聞き取りやアンケートなどを行って欲しい（事故があつてからでは遅い）。</p>
<p>ごくろうさまです。私は今、子育て真最中でなかなか自分自身にゆとりがないが、みんなが幸せな市・町となるよう子ども達、お年寄り、みんな仲良く暮らせるといいなと思っている。頑張ってください。ありがとうございました。</p>
<p>町内に信号機の設置。柿崎町内の道が狭くて歩行困難である。道路の幅員を広げて下さい。老人の1人歩きは危険である。</p>
<p>安城市に住んで42年、緑ある住みやすい町だと思う。あんくるバスは、市民の足として今後も…そして、もう少し地域を広げて利用しやすいようになると、もっと良いと思う。</p>
<p>市、又は町内会において福祉、その他の活動においても広報が行き届いていない。町を美しくするためにも。路上におけるポイ捨てが多いので、この様な小さいことも町内会やその他の団体等で活動して下さい。</p>
<p>最近ぶっそうな事件が安城でも頻発しています。交通安全・防犯活動を強化して住みよい町にして欲しいです。</p>
<p>政治家や国家公務員が今テレビ等不正問題で騒がれているが国民の代表がもっとしっかりとした態度で政治と向き合い住みよい日本にして欲しい。そこから必然と地域にも住みよい町づくりに繋がると思う。</p>

<p>高齢になると自動車にも出来るだけ乗らないようにしたいので生活圏が狭くなる。高齢者の移動手段としてあんくるバスが大変有効である。市民生活のため例え赤字になっても環境にも人にもやさしいあんくるバスの新規路線設定・現路線のあんくるバス増発を多くの市民が切望している。[デンパークの入場無料券も年間1回（使用有効期限を限定しない→補助金の節約）] デンパーク入場無料券よりあんくるバス乗車無料券が欲しいと多くの市民・特に高齢者が願望している。</p>
<p>アパート等に住んでいると地域協力金は強制的に取られるが地域情報などは入ってこないで住みよいまちづくりを進めるのはむずかしいと思う。</p>
<p>歩道などの整備が安城はとても進んでいると思うが、まだまだ段差などがある。高齢者やベビーカーの人達が困っているのを見かけることがあるので、デザインだけではなく通行のよりよい歩道が増えるとよいと思う。</p>
<p>福祉というと聞こえがいいが、資産があるのに障害者年金が長年働いて税金を納め年金を支払ってきた人よりも多いことを知っている。手厚い保護が障害者を甘えさせたり、自立をしなくても生きて行ける事になったりしているのも目にする。今の子ども達が大きくなってどうなるかわからないと少子化に拍車をかけることにもなると思う。福祉の分野ではないかも知れないが、戦争未亡人に多くの扶助料が出ると聞く。その人が亡くなると子どもに又線香代が20万円も出るとか。戦争の被害者は国民全体でもあったのではないか。その後成功し、収入も資産もたくさんある人にまで支給する事はないと思う。そうして公のお金が無いなんてオカシイ。一番大切な事は、自助努力ではないでしょうか。ことに障害者を甘えさせることには反対である。家族までそれをいい事に車税が出ないことが当然とか思い上がらせている例も知っている。</p>
<p>今までは仕事をしていたので福祉への考えはあてにしていなかったが、自分が皆さんに助けてもらう年になってきたので勉強をしていかななくてはと考えるようになってきた。</p>
<p>あんくるバス路線の見直し。藤井スタート岡崎西尾線を通って欲しい。藤井→御林→桜井駅方面より各方面へ。小学校も移転。アイシンAW辺りに名鉄の駅もできるため宜しくお願い致します。</p>
<p>しばらく海外生活をしており、海外より日本（安城）を直視して感じた事は、お年寄り、ご家族を大切にしている行為がうすらいでいる事である。残念で仕方ありません。安城市内のことではないが、TV・新聞等のニュースでは、隣人とのモメ事・家族内での殺人・暴力行為・自動車・モーターサイクル等のルール違反などがエスカレートしている。対策は、基本的には政治・教育の問題より論じ、改革をしていかねば根本的に解決しないが、安城としては立法府（市議会か市議会議員）を通じ、和（輪）を広げて行くことが大切だと思う。</p>
<p>いざという時に備えて、まず、自分自身で自分の健康に充分注意して常に参加・支援出来るようにしたい。</p>

<p>今健康でいるし、家族も良いので心配はないが、急に倒れた時に病院に入れてくれないようなことをよく聞くので、その方が心配である。年寄りも余り甘えていないことですね。</p>
<p>隣近所皆で横のつながりが昔のようにあり仲良く生活できればと思う。</p>
<p>学童など働く親のために、もう少し金額が安くなり、たくさん子どもを見てもらえたら良いと思う。4年生になったら学童に入れないのは、おかしいのではないのかと思う。</p>
<p>最近では老人のひとり暮らしが多くなった様に思う。それを介護する人の年齢が高くなり、2人とも介護して頂かなければならない時代、その折、特別養護老人ホームなど3ヶ月にて出なければならぬとか、病気をしたら1度、2～3日外に宿泊して医者にかからなければならぬ。家族のいない人はどうすればいいのか。今、弟がその状態で障害者で有り、ぜんそくを持っていて途方にくれている。安心してずっと住める特別養護老人ホームを安城市も作って欲しいと願っている。</p>
<p>隣近所との関係をつくる事については重要ではあるが、少し引いてしまう。「信頼関係」が出来ていない事もあるが、現在の家族関係が複雑になっており、言葉はあるが「安易に仲良くなれない」というやっかいな心情がある。関係作り（長いしかも良好な）は、ハードルが多くあり、やはり、「公的な枠組み」づくりが重要であると思われる。福祉委員会等…</p>
<p>以前から相談したいと思っていたので、ここで相談させていただく。JR安城駅にいつもいるホームレスの女性のことで、夏も冬もあの場所において彼女の事が心配である。聞けば、七夕祭りの時に駅を追い出されたとか。今はたまに見かける程度である。彼女は支援センターや生活保護を受けさせる事は出来ないのか。私に出来る支援は何でもするつもりである。どうかよろしく願いたい。</p>
<p>差別の無い明るい気持ちの良い人間関係を築き、誰もが気軽に参加出来る社会活動を広める。</p>
<p>遅くなってご免なさい。気持ちはあっても自分の体が思わしくなくて思う時に動けず心が自由にならずどうにもなりません。でも気分が良い時は少しでも皆さんのために動きたいと思っている。宜しく願い致します。</p>
<p>地域に関係した民生委員・町内役員に相談できる連絡先などの場所（住所・氏名）の案内があれば良いのではと思う。</p>
<p>地域活動の小単位としての町内会が組織されているが、町内会加入が低下しているために、町内会活動に認識も薄く、行事への参加もしなくなって来ていると思われる。従って、町内会の加入促進を図ることが重要であると思う。</p>
<p>各家庭の防犯体制の強化、正しい税金の使用、犯罪撲滅のための運動（街灯設置・カメラの設置）</p>

<p>60代の夫婦だけの生活で、老後の事は非常に切実な問題と考えている。災害時や福祉において地域の人達のお世話に成らざるを得ない。でも、町内会活動をはじめ地域の連帯があまり感じられず、非常に寂しい思いをしている。このアンケートを機に何か皆でいっしょにやれる事があったら…と思う。特に定年後、家にいる男の人達が参加出来る事を望む。</p>
<p>家の前の道路に暴走族がくる。以前、市長への手紙に、道路にバンクを作ったらどうかと書いたが、安全面でムリとの返事。でも、ショッピングセンターとか空港とかスピードを出しては、いけない場所などには、バンクがある。なぜ安全面でムリと回答してきたのか。全く理解出来ない。市民の事を聞く気がないのではないか。たとえば、ある一定の音を発すると「警察に通報しました」と表示させるとか、赤色灯がつくとか写真をとるなどいろいろアイデアはあると思うが、真剣に考えてもらえると思う。</p>
<p>空地が少なくなり、人間がギスギスしてきたように思う。家と家の間が狭いのではないかな。</p>
<p>グリーンロードの近くに住んでいるので、よく利用している。季節によって草や樹の伸びが違うので、草の伸びる時期にはもう少し草取り回数を増やしていただくとありがたいが…。ハサミ持参で散歩する事もある。(本当はいけないですよ)</p>
<p>住宅がつつぎつつぎ建っているが、知らない人の出入りが多く治安に不安を感じる。新しく引っ越して来た人が増えたものの、近所同士で付き合う雰囲気はまったく感じられない。人が増えることで、数十年後の健康の税金が高くなりそうで気になる。(今の子どもが安城市に住むとは限らない)一番大切なのは、やはり近所付き合いだと思うが、昔から住んでいる人と新しく来た人の間に壁が出来ていると思う。人を増やす事で安城市が何をめざしているのかわからない。本当に福祉を必要と思うのなら、人が少ない頃からもっと近所付き合い、立ち話の大切さを言い続けたいと思える。</p>
<p>まだ治安が良いとは思えないので日頃から隣近所の人達が協力し合って子どもたちの登下校を見送ったり、地域で防犯に取り組んだりする機会をつくった方が良いと思う。後、環境面でもマナーの悪い人達がたくさんいるので地域活動の一環としてごみひろいもした方が良いと思う。キレイな街では犯罪は起こらないし体の不自由な人達も住みやすくなると思う。</p>
<p>暗い夜道を歩くのは不安である。暗いところが無いくらい街灯の設置をお願いしたい。寂しい道は歩きたくありません。若者が集うコンビニなど夜中でも大声で騒いでいる。警察によるパトロールの強化をお願いしたい。</p>
<p>木造の家は地震に耐えられるかとの相談はあるが、鉄骨の場合はないので少々不安に感じている。</p>
<p>環境問題について、もう一度見直しをして欲しいと思う。例えば交通渋滞と家の回りの工場は公害である。弱者の意見に耳を傾けて改善して頂きたいと思う。</p>

<p>介護保険料が高すぎる。年金保険料から介護保険料を個人の良い悪いに関わらず天引きするものではない。</p>
<p>悔しいけど、問2. 28項の「ノーマライゼーション」の意味が分からなかった。</p>
<p>年金だけの収入に税金をやめて下さい。又、健康保険料が高い。又、医療費も3割負担は多いし、今までの年金は病気もせずに保険料を出してきたのみである。これから高齢になれば病気をするが、今まで保険料を出してきただけであるので今後は無料にすべきである。</p>
<p>①65歳から医療費をタダにする。②税金を高く取りすぎる。年金だけの収入の人には保険料・税金などを無料にすべきである。</p>
<p>小学1年生の時に引っ越して来て、安城市には小・中・高・社会人として18年居住しています。小・中学生位までは近隣の人々との交流があったが、近隣の人とのかかわりも無く、相手もあまりコミュニケーションを必要としていないようである。マンションであるのに、いつの間にかペットをかってもいいような（特に不動産屋の公共にペット可）事になっていて困っている。どこからでも入ってこられるマンションなので防犯の事も心配である。</p>
<p>ぜひ質問したいことが2つありました！いつも疑問に思っている事で、①私の家の近所に「住吉公民館建設予定地」と看板のある空地がある。引っ越して来てから3年になるが、ずっとそのままである。私はふだん車がないので雨が降ると今子どもと通っている「住吉今池公民館」や「作野公民館」は遠くて困るので、ぜひその予定地に早く公民館を建ててもらえないか。建てる予定は本当にあるのか。②名鉄の新城駅の近くの信号の所にエレベーターがあるが、利用している人を見たことがない。私は名鉄の新城をよく利用するが、ベビーカーがあると、エレベーターがないので本当にキツイ。国道1号にエレベーターをつくるのならまず駅に作って欲しかった。駅が移転するというのは本当か。遠くからここに引っ越して来たが、けっこう住みにくい町である…。公園はたくさんあって緑は多くていい所であるが…。がんばって下さい。住み良い町になるように。</p>
<p>道路の境目のわずかな段差などをなくして欲しい。バイクで走っているとグラついてあぶない。後から車が来ているので端の方に寄ると道路がガタガタである。木や雑草なども危険である。直してもらえるととってもありがたい。シルバーセンターなど利用したいと思うが。内部などどうなのでしょう。安城市はとっても良い所である。皆様のおかげである。ずーっと住みたいと思っている。ありがとうございます。</p>
<p>行政ばかりを頼る事無くまずは自分達で出来る事はやった方がいいと思う。</p>
<p>北部福祉センターを利用している。（北部）利用者がもっと多くなり楽しく時間が過ぎる様にするにはどうするか。利用者の多い器具などは利用時間を守る様に指導する（刈谷市の方法も）</p>

<p>碧南市や高浜市のように、障害者（軽度知的）の雇用を安城市でも行って欲しい。</p>
<p>民生委員・児童委員・福祉委員など、一定（特定）の人が長く勤めている場合が多い。例えば任期は4期まで、年齢は満70歳までとする。そうすれば多くの人々が福祉関係に携わり福祉にもっと関心を持つようになり市民に理解していただけるようになるのではないかと。又、行政主導の地域福祉ではなく、住民主体の地域福祉を推進するには、多くの人々の福祉に経験の有る人々が地域の住民の皆様と共に主体となって互いに助け合い地域福祉の住民を育てる事が第一でそれからみんなが進んで参加出来る地域活動の母体を作り、そして地域の皆様が主体となって地域福祉の町作りの推進が出来るのではないかと。だからこそ多くの人々が福祉に携わり多くの市民に福祉を理解して頂き、地域の皆様が主体となった互いに助け合える地域福祉の町づくりを目指せるのではないかと。と思う。</p>
<p>私には知的障害の兄がいて福祉施設に通っていた。その施設でいきなり私の兄は子どもからツバをかけられたそうで、兄はその子どもに怒ってしまい、それをみた施設の職員の男性はツバをかけた子どもを注意しないでツバをかけられた兄にこう言ったそうである。「おまえ、いくつ（歳）になったのだ。」と…。他にも汗を拭こうとして自分のタオルを出そうとしたら使わせてもらえず、よだれや汗などのついたタオルで職員が兄の顔を拭いた事もあったみたいである。障害者をバカにするような職員に安心して障害者を預ける事もできない。このような職員を誰が採用するのか。職員にどのような教育をしているのか。それが知りたい。</p>
<p>役所的な発想ではなく、地域住民同士の助け合いで成り立つ福祉でなくてはと思う。むずかしい言葉・横文字等使わず、分りやすいのが良い。</p>
<p>私は老人クラブに入っている。（一年前より）始めは何の楽しみもなかったが、2年目には色々な行事も有り福祉の関係がわかって来た。これからも福祉に関する意識について勉強したいと思う。今はシルバー人材センターで働いて楽しく1日を過ごしている。</p>
<p>今、私の心は腐っている。もっと広い心を持っていけばいいのかも知れない。住み良い町とは関係ない事であるが少し意見を言わせて下さい。生活保護世帯が増えたとの事。でもその保護世帯の人の話で、食品に対しても私達は少しでも安い物を買おうとしてきりつめているが、まずい物は食べたくないとか、勝手な事を言っている人もいる。もう少し考えた方がいいのではないかと。</p>
<p>福祉を必要としている人にタイムリーな支援をして下さい。年金生活者が安心して住み良い社会（税金など（保険料）増加）、障害者自立支援法の改正（改悪している）、医療制度の改正（改悪している）。</p>

<p>生活が多様化してくると、一律な参加を求めると、求めた方も求められる方にも不具合が生じ、ルール化できない点や制約でギクシャクしてしまい、長期的な息の長い参加が望めないと思う。いつでもボランティアできる、気軽さ各人の得意分野が生かせる事、極力負担を小さく、ストレス少なく活動を長続きさせるために、受け皿となる本部網（常設事務局）の設置を増やす。人材は広く浅く確保できるような気軽で身近なイベントできっかけ作り。また公民館単位の小さなサークルやスポーツ団体などをからめて横の連携づくりでも有効ではないか。今だけでなくその先も含めた助け合い組織が出来てゆくと良い。AED設置増加や万が一の救急法講習もいろいろな所で受けられると良いと思う。</p>
<p>市営住宅へのエレベーターの設置！</p>
<p>特別児童扶養手当というものがあるが、世帯主の所得制限があるのはどうかと思う。（とくに重度の障害を持っている時）それだけ、時間とお金がかかるし、パートなどもままたならないのに所得制限をわずかに超えて、もらえなかったりすると、けっこう大変である。</p>
<p>民生委員の人選について私達の町内ではほとんどが役人（公務員）OBの人が選ばれている。民間企業OBの人にも私について欲しい。</p>
<p>スポーツ・レクリエーション趣味を通しての和の広がり。</p>
<p>治安をよくして欲しい。外人が多くて不安。特に車の騒音がひどい。</p>
<p>とかくボランティアに対してひまな人がやる事としての意識が強い。住民が出来る範囲で良いから関心を持ち、行動する事が大切な気がする。全員が抵抗無く行動する環境づくりに努力したいものである。</p>
<p>私自身が障害を持っていて、周りの人に助けてもらっている者であるが、何かあった時に家族以外にすぐに駆けつけてくれる友人達がいるのはとっても心強いが、家族の中に障害者がいたらどンドン外に連れて行ってもらったりして自分の存在を知ってもらうのもとっても大事な事だと思っている。</p>
<p>今の所、働いているから（パート）あまり感じが無い。</p>
<p>正直、今現在私達の世代では福祉にかかわる時間は無く、質問を読んでもわからない事ばかりであった事が事実である。今の私では高齢者や障害者に安否の声をかけること、席を譲る事しか出来ていない。自画自賛になってしまうが、それをすること自体出来ていない人がたくさんいる。（例：高校生）やはり“福祉”というと堅苦しいイメージを持つので、誰もが納得できる身近なものにしていく必要があると思う。「年寄りを笑うな。いずれは行く道」という言葉があるくらいである。もう少し自分の考え方を見直すべきであるとアンケートをして自分自身実感した。</p>

<p>子どもが3人いるのに児童手当を打ち切られてしまった。(主人の所得制限が上限を超えたため) これから先、子ども達が高校・大学と進学した場合、家計が心配である。家のローンもあるのに…。少子化の原因はここにあると思う。子どもをたくさん産もうと言っている割には福祉が進んでいない。せめて、児童手当の所得制限の上限をなくして欲しい。それか、中学生までは医療費を無料にして欲しい。</p>
<p>安城市は障害者にやさしい街とはいえない。車優先の街といえる。歩道は狭く車椅子が通れないところが多くある。名鉄の駅にはエレベーターがない。グリーンロードさえ、小さな交差点でも歩行者・自転車の方が一時停止することになっている。グリーンロードの信号のない交差点(ごく小さなもの)は歩行者・自転車・車椅子以外が入れないようにすべきである。総合グラウンドの名鉄沿いの駐車場は自動車の通り道となっている。車椅子で安心して乗り降りできない。この駐車場は一方からしか入れないようにし、通り抜け出来ないようにしてください。以上は実例ですが、色々な点で人に優しい街づくりをお願いしたい。</p>
<p>安城市はマンション等市外からの転入者が多く、近所付き合いは少ないと思われる。人によっては人との付き合いを嫌うため、助け合って何かをするというのは難しい。 ⇒気軽に誰でも参加出来る様な行事を考えて大きな輪が出来ると何かあった時に近所で助け合っていけるのではないかと思う。</p>
<p>町内会・公民館活動を通じてのみしかこの地域の事は分からないが、非常に保守的な地域だと思う。それゆえに一步踏み出した活動や既存の活動の見方を変えるのが難しいと思う。他人事には興味はあっても関わりたくないとか、転入者に対してはいつまで経ってもよそ者扱いで何事か起こると身に覚えが無くても一番に名前をあげられるなど、肩身が狭い思いをしているのが現状である。地域活動を支える人材の育成と意識改革を強く希望する。</p>
<p>今、パトロールカーが走っているのをよく見かける。やっぱり安心感がある。外灯が少し少ない様に思う。</p>
<p>小学校へ行く子どもがいる家は、年に幾度か交差点に立つ。ハタ当番がまわってくる。その子以外の子がまだ小さい時幼稚園のバスの時間と重なったり、熱を出していたり、雨だったり物理的に難しい事がある。例えば地域のお年寄りに支援をお願いするとか、何か他に対策はないか。市民がボランティアに参加するとスタンプがもらえてそれをいくつかもらうと何か他の物と交換してもらえると市町村があると聞いた。安城市ではそういう計画はないか。賛否両論あるでしょうが、ボランティアの入り口としてはおもしろいのではないかと思うが…。</p>
<p>今の所特にありません。あんくるバスの運賃は安いのが良い。(たまに利用している。)</p>
<p>きれいな空気、きれいな水、安全な環境、助け合い。</p>

<p>家庭に老人を養いながら他の2ヶ所の家への災害時要援護者支援者に登録されたことが数年前にあった。これではいざと言った時にはその人達に迷惑を掛けてしまう事になるので、掛け持ちにならない様にしてもらいたいと思う。</p>
<p>①あんくるバスの運行を1時間以内ごとにして欲しい。②南部公民館・風呂場の脱衣ボックスを鍵のかかるものにして欲しい。</p>
<p>私達の別所団地は組毎に毎日腕章をつけて町内のパトロールをしている。防犯上大変良い事だと思っている。順番の回って来た日は丁寧にゆっくり歩く様に心掛けている。</p>
<p>高齢者の有効な利用（働きたいと思っている人が多いと考えるため、有料で色々な支援をするべきだと思う。シルバーよりも気軽なものにする）</p>
<p>『福祉』＝『介護』としか認識していないため、コメントできません。</p>
<p>福祉センターをもっと有効的に利用出来るようにすれば良いと思う。今、福祉センターはお年寄りの行く所というイメージが大きい。地域に高齢者がいても交流する機会もない。もっと世代をこえて交流できる場にすべきである。核家族化が進み、又、個人情報保護という観点からなかなか近所とのつながり（付き合い）が難しくなって来ている。これをどうするかはとても難しい問題である。もっと地域での活動・行事を行いやすくするような体制があるとよい（補助金など）。</p>
<p>安城の南部に住んでいるが、もっと発展させて欲しい。スーパー・大型薬局・書店・大きめの公園など北部に比べて（以前住んでいた）あまりにも少なすぎるように思う。</p>
<p>地区社協の活動について…回覧されてくる「社協だより」のみではなく、もう少し事業そのものについて具体的PRをして欲しい。（市民をもっと参加させる気がないと…。）</p>